

平成16年度〔第16-K2455-01号〕二級河川巴川

総合治水対策特定河川に伴う自然環境調査業務委託(その2)

報告書

平成17年3月

静岡県静岡土木事務所

特定非営利活動法人麻機湿原を保全する会

平成16年度〔第16-K2455-01号〕二級河川巴川
総合治水対策特定河川に伴う自然環境調査業務委託（その2）

報 告 書

平成17年3月

静岡県静岡土木事務所

特定非営利活動法人麻機湿原を保全する会

目 次

	頁
I. 業務計画	1
1. 業務の目的	〃
2. 業務の目的対象範囲	〃
3. 業務フロー	2
4. 業務の内容	〃
5. とりまとめの方法	6
(1) 資料収集	〃
(2) 河道状況調査	〃
(3) 植物調査	〃
(4) 魚類調査	7
(5) 鳥類調査	〃
II. とりまとめ	8
1. 資料収集(既往文献調査票)	1～2
2. 河道状況調査	
(1) 巴川	1～45
(2) 大谷川放水路	1～20
(3) 大沢川	1～21
3. 植物調査	
(1) 巴川	1～45
(2) 大谷川放水路	1～20
(3) 大沢川	1～21
4. 魚類調査	1～103
5. 鳥類調査	
(1) 巴川	1～47
(2) 大谷川放水路	1～20
(3) 大沢川	1～21

協議書

第1回目 平成16年9月21日(火)

第2回目 平成16年10月6日(水)

第3回目 平成16年11月2日(火)

第4回目 平成17年2月18日(金)

I.業務計画

1.業務の目的

本業務は二級河川巴川流域の河川環境検討シートを作成するため、巴川、大谷川放水路及び大沢川の自然環境を調査し、そのとりまとめを目的とする。

2.業務の対象範囲

業務対象河川の範囲は河川の管理区間とする。

① 巴川

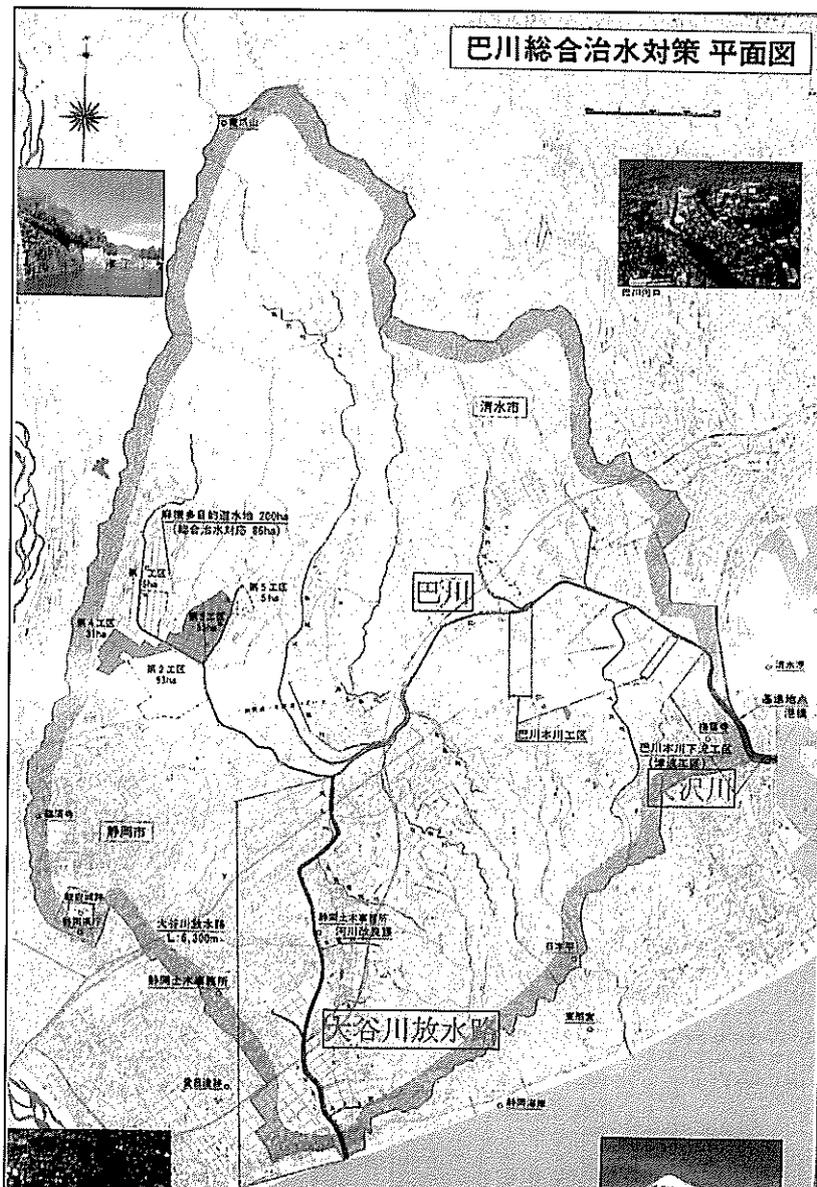
0.0 km (港橋) ~17.9 km (北地先)

② 大谷川放水路

0.0 km (河口) ~6.3 km (古庄地先)

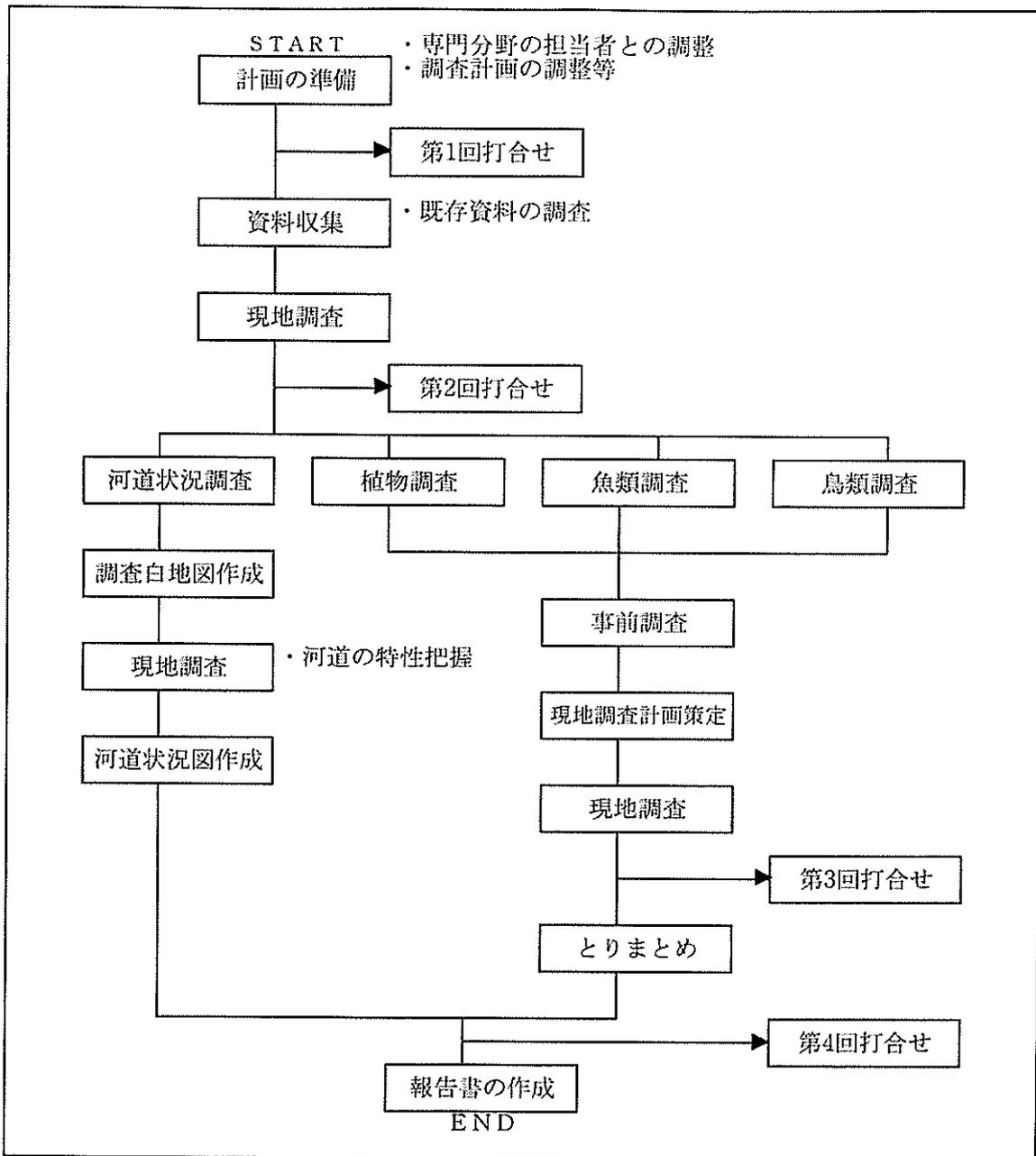
③ 大沢川

0.0 km (川久保橋~4.1 km (南矢部地先)



位置図

3. 業務フロー



4. 業務の内容

(1) 計画準備

業務内容の確認、専門分野の担当者との調整

(2) 資料収集

業務対象範囲内の動植物に関わる文献を収集し、動植物の生息・生育環境・特定種等注目すべき種の情報を把握する。

(3) 現地調査

調査は「平成9年度版河川水辺の国勢調査マニュアル」を参考にする。

① 河道状況調査

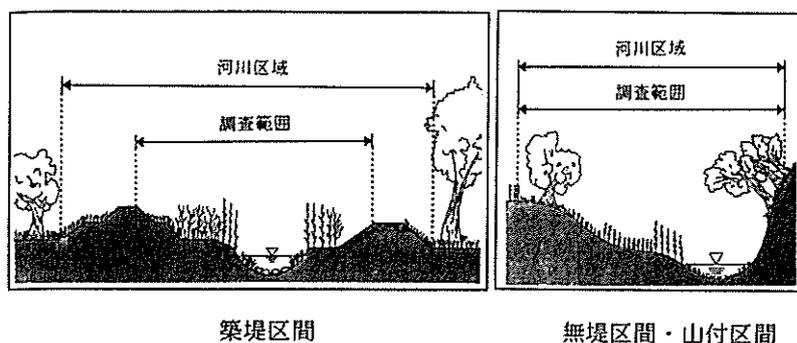
本調査は河道の全川が把握できる写真撮影によって行う。

- ・ 河道の状況
河相（滞筋・水際部・法面）が把握できる写真撮影を行う。
- ・ 生物の生息空間
生物にとって重要な場（ハビタット等）は、その場所が把握できる写真撮影を行う。
- ・ 撮影区間
撮影の区間は橋および河相の状況が変化するポイントで区切る。
- ・ 調査の時期および回数
調査は生物の活動する夏期に1回行う。

② 植物調査

本調査は植物調査項目のうち、植生調査を対象とする。また、注目すべき種も合わせて確認する。

- ・ 事前調査
文献調査、聞き取り調査、航空写真（河川台帳図借用）の読みとりにより、下図を作成する。
- ・ 現地調査計画の策定
現地踏査：植生の分布状況、堤外地の地形などを把握する。
調査地区の設定：調査範囲は堤外地側の堤防表法肩より河川側とする。無堤区間・山築区間では河川区域を調査範囲とする。



植生図作成調査：調査対象区間の全域とする。

調査の時期および調査回数：相観および優占種による植生の区分が行いやすい秋季に1回行う。

- ・ 現地調査
事前調査で準備した植生図の下図を基に、随時河川内を踏査し、下図に加筆・修正する。
- ・ 取りまとめ
調査の結果は河川ごとに植生図を作成する。
植生図は、基本分類により群落の区分ができる内容とする。

③ 魚類

本調査は魚類（エビ、カニ、貝類を含む）を対象とする。

- ・ 事前調査
文献調査、聞き取り調査により、これまでの魚類の生息状況や生息場所を把握する。
- ・ 現地調査計画の策定

現地踏査：瀬・淵の形状や河岸の整備状況、水辺の植生分布等の把握を行い、調査地区候補の選定を行うとともに、調査地区ごとの調査方法についても検討を行う。

調査地区の概要が把握できるような写真を撮影する。

調査地区の設定：現地踏査を踏まえできるだけ多くの魚類の確認が行えるよう瀬・淵等多様な環境が存在する範囲を設定する。

調査か所の設定：魚類は様々な環境に適応しているため、調査地区の魚類相を偏りなく把握できる地形や水際部など多様性が反映される箇所を設定する。

巴川は塩田川合流点付近、麻機遊水地第3工区と第1工区付近の3か所。

大谷川放水路は神明原橋、新田橋、巴川との合流点付近の3か所。

大沢川は全谷橋～JR鉄橋、大坪橋～船原橋、川原橋上流の3か所。

調査の時期および回数：魚類が活発に活動する時期から秋季の産卵がはじまるまでに1回行う。

調査方法の選定：捕獲方法は基本的な投網とタモ網とする。

採捕のための措置：調査にあたり、静岡県内の担当部署と協議し捕獲の許可等を得る。

- ・ 現地調査

捕獲による調査：投網・タモ網を中心にした調査を行う。

投網は水際の浅いか所や平瀬にいる魚を対象にする。網は12mmか18mmの目合を利用する。

タモ網はコイ科、ドジョウ科、ハゼ科等の河岸植物帯、沈水植物、河床の石の下、砂、泥に潜っている比較的小さな魚類に利用する。

調査か所の把握：河床材料、水深、水温（気温）を把握する。

同 定：河川水辺の国勢調査 生物種目録を参考にして同定する。

記 録：記録は河川別に調査か所ごとに現地調査表により記録する。また、写真撮影は調査か所ごとに1種類、1個体のみを撮影し、その他のものは容器内を撮影し、捕獲したものは放流する。

- ・ 取りまとめ

調査の結果を河川ごとに、現地調査票1と2に整理する。

調査票には調査か所ごとの写真を添付する。

④ 鳥類

本調査は河川の鳥類相を把握するとともに、鳥類の生息状況、集団分布の状況を調査する。

鳥類相はすべての鳥類を把握する。調査項目は鳥類の分布状況調査と鳥類集団分布地調査（集団繁殖地・埒）の位置と生息状況を把握する。

- ・ 事前調査

文献調査、聞き取り調査により、調査対象河川区域内とその周辺地域における情報を取りまとめる。

取りまとめは鳥類相、渡りの区分および繁殖等の時期と場所、特定種の生息の有無、集団分布地の位置および状況、鳥獣保護区を把握する。

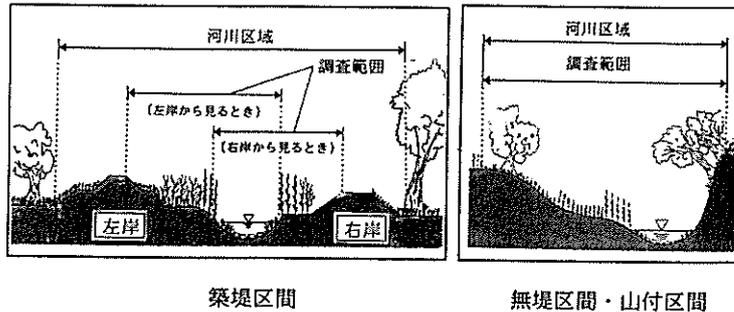
- ・ 現地調査計画の策定

現地踏査：河川の地形、河川形態、河岸の状況、植生、土地利用状況等を把握し、鳥類分布

状況調査と鳥類集団分布地・調査か所の選定を行う。

調査地区の概要を把握できるような写真撮影を行う。

調査地区の設定：横断方向の調査地区は左岸・右岸の堤外地側堤防法肩、無堤区間・山付区間は河川区域、縦断方向は堤防上、市道・橋梁上も調査地区とする。



調査か所：鳥類分布状況調査は下流から順に連続的に 1km の範囲で設定する。鳥類集団分布地は調査か所とする。

調査の時期および回数：秋の渡りに 1 回行う。

・ 現地調査

現地調査計画により 2 つの調査を実施する。

鳥類分布状況調査：調査地区における鳥類の分布状況を把握するため、調査方法はライセンス法による確認を基本とする。

ライセンス法：調査定線上を一定の速さで歩きながら、出現する鳥類を姿または鳴き声によって確認し、写真撮影の可能なものは撮影する。

定点記録法：ライセンス法により分布を確認しながら鳥類集団分布地を確認した場合は定点記録法により、1 調査定点につき 30 分を目安に行う。

調査の時間帯：午前中までを目安とする。

記録項目：鳥類文献状況調査で確認した鳥類の個体または個体群ごとに確認した場所と確認された状態を記録する。記録は現地調査票 1 と 2 に記入する。

・ 取りまとめ

取りまとめは、現地調査様式 1・2・3 により取りまとめる。

⑤ 報告書の作成

各調査によって取りまとめられた資料を構成し、報告書として作成する。

調査の結果は河道状況調査、植物調査、魚類調査、鳥類調査の順にまとめる。

5. とりまとめの方法

調査項目は、河道状況調査、植物調査、魚類調査、鳥類調査の4項目であるが、資料収集の既往文献調査票は4項目の前に加える。構成は巴川、大谷川放水路、大沢川の順にまとめる。

(1) 資料収集

資料の収集は静岡土木事務所で昭和61年度から平成2年度に実施された巴川等の水生生物調査報告書及び巴川河川環境管理基本計画策定調査報告書の概要を既往文献調査票にまとめる。

(2) 河道状況調査

本調査は調査票と河道状況（平面図）で構成する。調査票では河川特性を7項目に表記し、また、図面番号と距離は各河川ごとの平面図の表記を記入した。河川の特性は「河川環境検討シート」作成の手引き<案>平成15年3月 国土交通省河川局河川環境課で発行されている河川区分の検討シート<記入例>により作成した。

① 調査票の作成

	項目	参考文献等		
河川特性	周辺の地形・地質	静岡・清水地域地質図 商工会議所発行 静岡都市計画図 静岡市		
	セグメント	3：デルタ河道・2-2：砂河道・2-1：砂利河道・ 1：扇状地河道・M：山地河道		
	勾配	縦断図（河川台帳）		
	河床状況	現地調査及び静岡・清水地域地質図参照		
	河道状況	現地調査（写真撮影）		
	河幅	河道幅	横断図の堤防幅（河川台帳）	
		水面幅	（現地調査）	

② 河道状況図の作成

・ 河相

主として下流から上流に向かって写真撮影し、河相は滞筋部、水際部、法面の構成が把握できる程度とした。

・ 河川の周辺環境

管理用道路（市道）や住宅地など河川をとりまく環境が把握できる程度とした。

・ 滞筋の記録

今後の出水等により河相の改変も予測される。このため瀬や淵、洲は写真撮影し、河道状況図に表記した。

③ 調査票の整理

調査票は巴川、大谷川放水路、大沢川の順序で整理した。

(3) 植物調査

本調査は「平成9年度河川水辺の国勢調査マニュアル」を参考にして植生図を作成した。植生図は河川の平面図に群落名を記入し、凡例に色見本・基本分類・群落等・区分番号を表記した。植生調査票は巴川、大谷川放水路、大沢川の順序で整理した。

「注」色見本NoはSTAEDTLER36色

色見本	基本分類	群落名等	区分番号	
33	沈水植物群落		1	
	浮葉植物群落		2	
	浮遊植物群落		3	
11	塩沼植物群落		4	
6	砂丘植物群落		5	
24	一年生草本群落		6	
5	多年生草本群落		7	
30	イネ科	ヨシ群落	ヨシ群落	8 A
			セイタカヨシ群落	8 B
73	草本	マコモ群落	マコモ群落	9
56		オギ群落	オギ群落	10
52		ススキ群落	ススキ群落	11
50		シバ	シバ群落	12
16		その他イネ科群落		13
38	ヤナギ低木林		14	
	ヤナギ高木林		15	
35	落葉広葉樹林		16	
61	常緑広葉樹林		17	
8	針葉樹林		18	

群落区分の凡例

(4) 魚類調査

本調査は「平成9年度河川水辺の国勢調査マニュアル」を参考にして巴川、大谷川放水路、大沢川の3河川のうち河相に特性のみられる3か所を調査対象地点とした。

調査は静岡県を代表する静岡県立大学の板井隆助教授の協力を得、取りまとめは単独構成とした。

(5) 鳥類調査

本調査は「平成9年度河川水辺の国勢調査マニュアル」を参考にして、鳥類の分布状況を把握するために調査方法はラインセンサス法を基本にした。調査は河川平面図に鳥類観察地点を記録し、これを「鳥類現地調査票1」と各河川ごとに「鳥類出現種目録」にとりまとめた。

既往文献調査票

地建・都道府県名	事務所・部局名	水系名	河川名	調査年度
静岡県	静岡土木事務所	安倍川	巴川	2004

文献 No.	文献名	調査者	調査時期	調査範囲	調査項目	調査方法	一般公開
1	〔第 2392 号〕二級河川巴川河川調査（水生生物）調査委託報告書	静岡県（社）淡水生物研究所	昭和 61 年度 62 年 2 月 9 日 ～10 日	巴川 大沢川 山原川 用水路 和田川 和田川支川 塩田川 巴川・支川 継川 長尾川 吉田川 浅畑川 大谷川 放水路 長沢川 小鹿沢川 大谷川新川 大慈悲院川・支川	底生動物 プランクトン 付着生物	・底生動物 50 cm×50 cm の平杓を河床内 に設置 ・プランクトン 口径 20 cm 網地 N X X X 25 のプ ランクトンネッ ト使用 ・付着生物 砂礫を採取し、5 cm×5 cm の 付着藻類を採取。	無
2	〔第 2266 号〕二級河川巴川改良（水生生物）調査委託報告書	静岡県（社）淡水生物研究所	昭和 62 年度 62 年 9 月 4 日 ～6 日	巴川 大沢川 山原川 用水路 和田川 和田川支川 塩田川 巴川・支川 継川 長尾川 吉田川 浅畑川 大谷川 放水路 長沢川 小鹿沢川 大谷川新川 大慈悲院川・支川	底生動物 プランクトン 付着生物	・底生動物 50 cm×50 cm の平杓を河床内 に設置 ・プランクトン 口径 20 cm 網地 N X X X 25 のプ ランクトンネッ ト使用 ・付着生物 砂礫を採取し、5 cm×5 cm の 付着藻類を採取。	無
3	〔第 2240 号〕二級河川巴川改良（水生生物）調査委託報告書	静岡県（社）淡水生物研究所	昭和 63 年度		昭和 61 年度と 62 年度の調査 から巴川水系 及び麻機遊水 地に生息する 生物の現況を まとめた。ま た、湿地を含 めた水辺の自 然の特徴を考 え麻機遊水地 付近の位置づ け及び活用を 提案する際の 資料とした。		無

既往文献調査票

地建・都道府県名		事務所・部局名		水系名	河川名	調査年度	
文献 No.	静岡県 文献名	静岡県 土木事務所 調査者	安倍川 調査時期	調査範囲	巴川 調査項目	2004 調査方法	一般公開
4	〔第 2238 号〕二級河川巴川河川改良(水生生物)調査委託報告書	静岡県(社)淡水生物研究所	平成 2 年度		1. 巴川水系の現状と諸問題 2. 巴川水系にふさわしい生物の選択と生息条件 3. 巴川水系の自然とその活用		無
5	平成元年度二級河川巴川河川環境管理基本計画策定調査報告書	静岡県静岡土木事務所(株)建設技術研究所	平成 2 年度		巴川の河川環境を構成している各種の特性を既存資料、アンケート等により把握する。巴川流域、同河川区域等における自然及び社会環境に関する各種現況特性を把握し、巴川河川環境管理基本計画の基盤資料の作成を行う。		無

巴川河道状況調査票

図面番号	1	距離	0K000	～	0K350	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・左右岸は埋立地				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	-1/2325 (河床は逆勾配)				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	感潮区間で流れは緩やかな平瀬。河道幅が水面で干潟や洲はない。				
	河幅	河道幅	88.1m～66.5m			
		水面幅	88.1m～65.7m			
	特記事項	生物の生息空間	透明度がなく水生植物などはみられない。			
		右岸	13 巴川 1 号係留場 3 級、羽衣橋下流の管理道は未舗装。羽衣橋上流の護岸はパラペット。			
		左岸	羽衣橋の下流は船舶の係留施設として整備されている。			
その他		羽衣橋上流の右岸に管理用道路はない。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項 (原案)

平成 9 年 5 月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	2	距離	0K350	～	0K700	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・左岸は泥砂礫層 右岸は埋立地				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	-1/493 (河床は逆勾配)				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	感潮区間で流れは緩やかな平瀬。干潟や洲はない。				
	河幅	河道幅	66.5m～75.8m			
		水面幅	65.7m～72.0m			
	特記事項	生物の生息空間	透明度がなく水生植物はみられない。			
		右岸	常念川が合流し水門が設けられている。 15 巴川 3 号係留場 (3 級) が 4 か所に設けられている。護岸はパラペットで壁面が高校生によって描かれている。			
		左岸	旧清水港築地ポンプ場から下流の羽衣橋までは管理用道路はない。 14 巴川 2 号係留場 (3 級) が港橋まで設けられている。護岸はパラペットで高校生による絵画が描かれている。			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項 (原案)

平成 9 年 5 月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
(1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	3	距離	0K700	～	1K050
河川特性	周辺の地形・地質	砂泥～泥砂礫互層			
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ●2-1 ・ 1 ・ M			
	勾配	1/3984			
	河床状況	泥砂			
	河道状況	感潮区間で流れは緩やかな平瀬。水面で干潟や洲はない。			
	河幅	河道幅	75.8m～52.3m		
		水面幅	72.0m～50.4m		
特記事項	生物の生息空間	透明度がなく水生植物はみられない。			
	右岸	港橋の下流に 15 巴川 3 号係留場 (3 級) が設けられている。護岸はパラペットで壁画が高校生によって描かれている。			
	左岸	港橋から下流に 14 巴川 2 号係留場 (3 級) が設けられている。護岸はパラペットで壁画が高校生によって描かれている。			
	その他	港橋の右岸のポケットパークに「甲州廻米置場跡の碑」がある。			

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項 (原案)

平成 9 年 5 月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	4	距離	1K050	～	1K400	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ● 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/1129				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	感潮区間で流れは緩やかな平瀬。干潟や洲はない。				
	河幅	河道幅	52.3m～54.0m			
		水面幅	50.4m～53.0m			
	特記事項	生物の生息空間	透明度がなく水生植物などはみられない。			
		右岸	護岸はパラペットで壁面が高校生によって描かれている。			
		左岸	同上			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	5	距離	1K400	～	1K750	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	-1/473 (河床は逆勾配)				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	感潮区間で流れは緩やかな平瀬。干潟や洲はない。				
	河幅	河道幅	54.0m～55.5m			
		水面幅	53.0m～54.0m			
	特記事項	生物の生息空間	透明度がなく水生植物などはみられない。			
		右岸	17 巴川 5 号係留場 (3 級)、19 巴川 7 号係留場 (3 級) が設けられている。護岸はパラペット			
		左岸	16 巴川 4 号係留場 (3 級)、18 巴川 6 号係留 (3 級) が設けられている。富士見橋より八千代橋まで管理用道路はない。			
その他		八千代橋の左岸に水神社がある。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項 (原案)

平成 9 年 5 月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	6	距離	1K750	～	2K000	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	-1/744 (河床は逆勾配)				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	感潮区間で流れは緩やかな平瀬。千歳橋上流の右岸にはヨシ群落がある。千歳橋の下流に「千歳橋駐車場」が設けられている。				
	河幅	河道幅	54.0m～60.5m			
		水面幅	53.0m～56.3m			
	特記事項	生物の生息空間	千歳橋上流右岸のヨシ群落内にはカニ類・スズメなど、野鳥の生息空間になっている。透明度がなく水生(沈水)植物などはみられない。			
		右岸	千歳橋上流の右岸には管理用道路はない。			
		左岸	千歳橋の上流には植樹帯が設けられている。			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項(原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	7	距離	2K100	～	2K450	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/8756				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	感潮区間で流れは緩やかな平瀬。この区間には下流から静岡鉄道橋、JR東海道線橋、大正橋、柳橋駐車場、柳橋がある。				
	河幅	河道幅	60.5m～43.8m			
		水面幅	56.3m～42.6m			
	特記事項	生物の生息空間	透明度がなく水生植物などはみられない。			
		右岸	下流から大正橋まで管理用道路はない。静岡鉄道橋とJR東海道線橋の間に浜田親水公園がある。			
		左岸	静岡鉄道橋からJR東海道線橋の区間に壁画が高校生によって描かれている。大正橋の裾には水神社がある。ここから柳橋までの間には管理用道路はない。			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	8	距離	2K450	～	2K800	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	-1/2917 (河床は逆勾配)				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	感潮区間で流れは緩やかな平瀬。稚児橋の所は狭窄部になっていたが現在は拡幅され新橋になった。				
	河幅	河道幅	43.8m～38.8m			
		水面幅	42.6m～34.3m			
	特記事項	生物の生息空間	透明度がなく水生植物などはみられない。			
		右岸	稚児橋の下流に階段が設けられている。			
		左岸	同上			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項 (原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	9	距離	2K800	～	3K150	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	-1/1029 (河床は逆勾配)				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	感潮区間で流れは緩やかな平瀬。				
	河幅	河道幅	38.8m～41.0m			
		水面幅	34.4m～36.0m			
	特記事項	生物の生息空間	透明度がなく水生植物はみられない。			
		右岸	巴川橋下流には高木林がある。 巴川橋の上流には貯木場への水門がある。			
		左岸	江尻小学校前に親水施設が設けられ市道はポケットパークになっている。			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項 (原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	10	距離	3K150	～	3K500	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	-1/1842 (河床は逆勾配)				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	感潮区間で流れは緩やかな平瀬。(二) 大沢川が右岸に合流しその下流には板政合板占用橋と水管橋がある。				
	河幅	河道幅	41.0m～39.0m			
		水面幅	36.0m～34.0m			
	特記事項	生物の生息空間	透明度がなく水生植物などはみられない。			
		右岸	護岸はパラペットである。			
		左岸	板政合板占用橋の下流に貯木場の水門がある。 巴川橋から上流のパラペットには壁画が高校生によって描かれている。			
その他						

参考文献

① 周辺の地形は静岡広域都市計画図

② 地質は静岡・清水地域地質図

③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項 (原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
(1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	11	距離	3K500	～	3K850	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	-1/1346 (河床は逆勾配)				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	感潮区間で流れは緩やかな平瀬。この区間から鋼矢板SP型の天端には水生植物などが生育している。(以下「鋼矢板天端」とする)				
	河幅	河道幅	39.0m～37.0m			
		水面幅	34.0m～32.0m			
	特記事項	生物の生息空間	透明度がなく水生植物などはみられない。			
		右岸	渋川橋下流のパラペットに壁画が高校生によって描かれている。渋川橋からJR東海道新幹線までは護岸天端は柵が設けられている。			
		左岸	渋川橋からJR東海道新幹線橋までは護岸天端には柵が設けられている。			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項 (原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	12	距離	3K850	～	4K200	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	-1/2058 (河床は逆勾配)				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	感潮区間で流れは緩やかな平瀬。(二) 山原川が左岸に合流している。				
	河幅	河道幅	37.0m～36.4m			
		水面幅	32.0m～31.5m			
	特記事項	生物の生息空間	透明度がなく水生(沈水)植物などはみられない。			
		右岸	護岸はパラペットになっている。鋼矢板天端には水生植物などが生育している。			
		左岸	同上			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項(原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	13	距離	4K200	～	4K550	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ● 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/614				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	感潮区間で流れは緩やかな平瀬。和田川が左岸に合流している。				
	河幅	河道幅	36.4m～37.0m			
		水面幅	31.5m～32.0m			
	特記事項	生物の生息空間	左右護岸に水生陸生の植物が生育している。			
		右岸	透明度がなく水生（沈水）植物はみられない。鋼矢板天端には水生植物などが生育している。			
		左岸	同上			
その他						

参考文献

① 周辺の地形は静岡広域都市計画図

② 地質は静岡・清水地域地質図

③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	14	距離	4K550	～	4K900	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	-1/350 (河床は逆勾配)				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	右岸に河床土が幅員 4.00m～5.50m程度残され水生植物などが生育している。 右岸に旧巴川が合流している。				
	河幅	河道幅	36.8m～37.70m			
		水面幅	32.20～27.00m			
	特記事項	生物の生息空間	右岸に残された河床土の水生植物などは昆虫や野鳥の生息空間になっていると考えられる。 透明度がなく沈水植物はみられない。			
		右岸	護岸はパラペットである。			
		左岸	同上			
その他		旧巴川は本川に流入する河川の中では最もきたない川の一つである。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項 (原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
(1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	15	距離	4K900	～	5K250	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ ● 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2061				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	右岸に河床土が幅員5.5m～4.0m程度残され、水生植物などが生育している。左岸は4K984地点から河床土が幅員3.00m程度残され水生植物などが生育している。右岸に（二）塩田川が合流している。				
	河幅	河道幅	37.70m～31.00m			
		水面幅	27.00m～21.60m			
	特記事項	生物の生息空間	左右岸に残された河床土は水生植物などが生育している。昆虫や野鳥などの生息空間になっていると考えられる。透明度がなく沈水植物などはみられない。			
		右岸	護岸はパラペットになっている。			
		左岸	能島橋の下流まではパラペットになっている。			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	16	距離	5K250	～	5K600	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地（右岸）・泥層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	-1/364（河床は逆勾配）				
	河床状況	泥砂・砂利				
	河道状況	この区間までが感潮区間で流水は緩やかな平瀬。5K250 地点から 5K300 地点付近までの右岸に河床が幅員 4.50m 程度の残され水生植物などが生育している。四方沢川右岸に合流している。				
	河幅	河道幅	31.00m～33.30m			
		水面幅	21.60m～27.50m			
	特記事項	生物の生息空間	右岸に残された河床土は水生植物などが生育している。			
		右岸	四方沢川との背割堤は能島親水公園になっている。			
		左岸	塩田川との背割堤は高部水辺公園になっている。			
その他		この地点は本川の中でも親水性の高い区間である。5K600 付近から上流は水深が浅く（チャラ瀬）なり透明度もある。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	17	距離	5K600	～	5K950	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地（右岸）・泥層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ●2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/1521				
	河床状況	泥砂・砂利・礫				
	河道状況	水深 0.20m～0.60m。流れは緩やかな平瀬である。 流量によっては右岸側に河床が現れる。				
	河幅	河道幅	33.00m～27.00m			
		水面幅	28.50m～15.0m			
	特記事項	生物の生息空間	右岸側の河床にはヤナギなどの水生植物が生育している。 砂利や礫の河床材は魚類などの生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	四方沢川との背割堤には水生・陸生の植物が生育している。			
		左岸	静清バオパスの側道より上流の管理用道路は未舗装である。			
その他		5K900 付近の左岸は大内遊水地の計画地となる。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	18	距離	5K950	～	6K300	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地（右岸）・泥層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ●2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/660				
	河床状況	泥砂・砂利・礫				
	河道状況	水深は 0.10m～0.20m。所どころに 0.3m程度の浮石が見られる。水量によって右岸側に現れる河床は 5K950 付近で終わる。 大内観音沢が左岸に合流している。				
	河幅	河道幅	27.00m～24.50m			
		水面幅	15.00m～21.80m			
	特記事項	生物の生息空間	泥砂・砂利・礫の河床材は魚類などの生息空間になっていると考えられる。この区間にはコサギがみられる。			
		右岸	堤防法面や天端には水生・陸生植物が生育している。			
		左岸	同上・大内遊水地が整備されている。堤防の天端には桜並木がある。			
その他		本川と大内観音沢の合流点は親水公園になっている。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	19	距離	6K300	～	6K650	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地（右岸）・泥層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ● 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/700				
	河床状況	泥砂・砂利・礫				
	河道状況	水深は0.1m～0.5m、流れは平瀬であるが小さな早瀬が2か所ある。 6K650地点付近の右岸に搬路が設けられ、その付近に洲がある。0.40m程度の浮石もみられる。左岸には矢崎川が合流している				
	河幅	河道幅	24.5m～24.3m			
		水面幅	21.8m～22.4m			
	特記事項	生物の生息空間	泥砂・砂利・礫の河床材は魚類などの生息空間になっていると考えられる。 この区間にはコサギがみられる。			
		右岸	堤防法面や天端には水生・陸生植物が生育している。			
		左岸	堤防法面や天端には水生・陸生植物が生育している。 大内遊水地が整備されている。			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	20	距離	6K650	～	7K000	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥層				
	セグメント	3 ・ ● 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2692				
	河床状況	泥砂・砂利・礫				
	河道状況	水深は 0.2m程度、右岸に搬路がつくられこの付近には上流の長崎橋から連続して洲が形成されていて、一部に早瀬がみられる。				
	河幅	河道幅	48.70m～26.00m			
		水面幅	27.50m～17.80m			
	特記事項	生物の生息空間	泥砂・砂利・礫の河床材は魚類等の生息空間になっていると考えられる。左右の堤防には水生・陸生植物が生育している			
		右岸	搬路がつくられている。			
		左岸	大内遊水地の整備が進められ管理用道路も整備されている。法肩には桜並木がある。			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	21	距離	7 K000	～	7K350	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層～泥層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ● 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/714				
	河床状況	砂利・礫				
	河道状況	水深は 0.2m～0.5m。巴川と静清バイパスとの交差点には洲が形成され、洲によって滞筋は早瀬がみられる。				
	河幅	河道幅	26.00m～27.00m			
		水面幅	17.80m～20.00m			
	特記事項	生物の生息空間	砂利・礫の河床材は魚類の生息空間になっていると考えられる。このあたりから上流に向かってカモ類が多く渡来している。			
		右岸	堤防法面には陸生植物が生育している。			
		左岸	管理用道路は未舗装で陸生植物が生育し、桜並木がある。			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静清広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	22	距離	7K350	～	7K700	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥層～泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ● 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/1029				
	河床状況	砂利・礫				
	河道状況	水深は 1.0m程度の所もある。久保橋の上流に早瀬がある。左岸に（二）継川と（二）長尾川が合流し、長尾川と巴川の合流点より下流の継川までの左岸に洲が形成されている。				
	河幅	河道幅	27.00m～29.9m			
		水面幅	20.00m～16.0m			
	特記事項	生物の生息空間	この区間は三川が合流し、継川と長尾川、長尾川と巴川の背割堤には陸生植物が生育している。砂利・礫の河床材は魚などの生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	法面には陸生・水生植物が生育している。			
		左岸	同上			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	23	距離	7K000	～	8K050	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地 長尾川と併流・泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ●2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/714				
	河床状況	砂利・礫・玉石				
	河道状況	水深は 1.0m程度、流れが緩やかな平瀬である。また、この区間は三川が平行して流れている。				
	河幅	河道幅	36.0m～37.50m			
		水面幅	21.0m～23.20m			
	特記事項	生物の生息空間	巴川と長尾川と継川の背割堤や巴川の法面には陸生・水生植物が生育して昆虫や野鳥の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	県立清水高等学校技能専門学校付近には桜並木がある。			
		左岸	巴川と長尾川の背割堤になっている。			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	24	距離	8K050	～	8K400	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地 長尾川と併流・泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ● 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/1207				
	河床状況	砂利・礫・玉石				
	河道状況	水深は0.1m程度で右岸に(二)草薙川と弥生雨水幹線が合流している。8K400付近には上流の吉田川から流出した土砂が堆積し、本川では最も大きな洲をつくり、この間には早瀬もみられる。				
	河幅	河道幅	37.50m～36.00m			
		水面幅	23.2m～22.00m			
	特記事項	生物の生息空間	砂利・礫・玉石の河床材は魚類などの生息空間になっていると考えられる。巴川と長尾川、長尾川と継川の背割堤にはエノキなどや陸生植物が生育している。			
		右岸	8K200付近には階段護岸が設けられている。			
		左岸	巴川と長尾川の背割堤になっている。			
その他		上流の巴川橋上下流の背割堤は、静岡市が占用し弥生緑地になっている。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項(原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	25	距離	8K400	～	8K750	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ● 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/1166				
	河床状況	砂利・礫・玉石～泥砂				
	河道状況	水深は 1.0m程度、巴川橋上流の右岸に（二）吉田川が合流している。同川から流出した土砂が堆積し、大きな洲を形成している。				
	河幅	河道幅	36.00m～40.00m			
		水面幅	22.00m～19.00m			
	特記事項	生物の生息空間	砂利・礫・玉石の河床材は魚類などの生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	8K670 地点に階段護岸が設けられている。			
		左岸	背割堤は静岡市が占用し弥生緑地になっている。			
その他		弥生緑地の下流には「巴川改修記念の碑」が建立されている（記念誌大谷川放水路 31 ページ参照）。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	26	距離	8K750	～	9K100	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	-1/1666 (河床は逆勾配)				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	水深 1.0m以上。流れは緩やかな平瀬になっている。河床には沈水植物がみられる。				
	河幅	河道幅	40.00m～36.00m			
		水面幅	19.00m～18.00m			
	特記事項	生物の生息空間	河床の沈水植物は魚類などの生息空間になっていると考えられる。9K000 付近から平行する河川は長尾川となる。			
		右岸	9K000 付近から堤防の天端にサクラなどが植えられ、法面には陸生植物が生育している。			
		左岸	9K000 付近に階段が設けられている。この場所の背割堤は幅員 15.00m程ある。			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項 (原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	27	距離	9K100	～	9K450	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫瓦層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	-1/700 (河床は逆勾配)				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	水深は 1.0m以上。流れは緩やかな平瀬になっている。河床には沈水植物がみられる。				
	河幅	河道幅	36.00m～23.80m			
		水面幅	18.00m～15.00m			
	特記事項	生物の生息空間	河床の沈水植物は魚類などの生息空間になっていると考えられる。9K300付近から長尾川は法線を北西に変える。			
		右岸	ゴミ集塵ネットが設けられている。 桜並木がある。 犬走りに湧水がみられる。			
		左岸	犬走りに湧水がみられる。			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項 (原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	28	距離	9K450	～	9K800	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ● 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/546				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	水深は 1.0m以上。流れは緩やかな平瀬になっていて、古庄大橋の上流は(二)大谷川放水路の分流点になっている。分流点の上流に巴川都市下水路が合流している。				
	河幅	河道幅	23.80m～22.00m			
		水面幅	15.00m～12.20m			
	特記事項	生物の生息空間	古庄大橋の下流付近までは河床に沈水植物が生育し、魚類などの生息空間になっていると考えられる。			
右岸		古庄大橋の下流は搬路になっている。法面の天端はサクラなどが植えられている。古庄大橋下流の護岸天端はフェンスが設けられている。				
左岸		犬走りに水生植物が生育している。法の肩には草花などが植えられている。護岸天端に柵が設けられている。				
その他		大谷川放水路分流点には大谷川放水路完成のポケットパークがある。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	29	距離	9K800	～	10K150	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ● 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/1400				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	水深は 1.0m以上。流れは緩やかな平瀬になっている。河床に沈水植物が生育している。				
	河幅	河道幅	22.00m～22.0m			
		水面幅	12.00m～14.60m			
	特記事項	生物の生息空間	河床の沈水植物は魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	犬走りに湧水がみられる。この場所は上流から流れてきたと思われる水生植物が生育している。 護岸天端には柵が設けられている。			
		左岸	10K000 付近に階段が設けられ、護岸天端には柵が設けられている。			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	30	距離	10K150	～	10K500	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層～泥層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	-1/380 (河床は逆勾配)				
	河床状況	泥・砂・砂利・礫・玉石				
	河道状況	水深 1.0m以上～0.5m程度。水深の浅い場所には砂利や礫などがみられ、巴橋の下流には玉石もみられる。河床には沈水植物が生育している。				
	河幅	河道幅	22.00m～23.00m			
		水面幅	14.00m～13.00m			
	特記事項	生物の生息空間	河床の沈水植物は魚類などの生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸天端には柵が設けられている。			
		左岸	歩道橋上流の護岸には柵がない。			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項 (原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	31	距離	10K500	～	10K850	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥層～泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	-1/760 (河床は逆勾配)				
	河床状況	泥・砂・砂利				
	河道状況	水深 1.0m～0.20m程度。流れは緩やかな平瀬になっている。新田橋の下流には洲がみられる。河床には沈水植物が生育している。				
	河幅	河道幅	23.00m～24.50m			
		水面幅	13.00m～15.5m			
	特記事項	生物の生息空間	河床の沈水植物は魚類などの生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸には植物の生育はほとんどみられないが犬走りの上には水生植物が生育している場所もある。 護岸天端に柵が設けられている。			
		左岸	同上			
その他		聞き取り調査ではこの区間一帯は昔シジミがよく捕れ、これを商売にしていた人もいたと言う。 この地区(上土町内会)では、この区間一帯を「コイの里」にして保護に努めている。 巴川橋の右岸に旧横内川が流入しているが、江戸時代にはここに堰を設けて駿府城まで舟を入れたと伝えられている。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項(原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
(1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	32	距離	10K850	～	11K200	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層～泥層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ● 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/1168				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	水深 1.0m～0.2m程度。流れは緩やかな平瀬。河床には沈水植物がみられる。				
	河幅	河道幅	24.50～20.00m			
		水面幅	15.50m～12.50m			
	特記事項	生物の生息空間	河床の沈水植物は魚類などの生息空間になっていると考えられる。護岸天端に柵が設けられている。			
		右岸	水天宮の前には階段が設けられ、護岸天端に柵が設けられている。			
		左岸	11K150 付近の犬走りには、音をたてて湧水が流入している。			
その他		右岸には水天宮がありこの境内には巴川の治水顕徳碑が大正 14 年に建之されている。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成 9 年 5 月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	33	距離	11K200	～	11K550	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥層				
	セグメント	3 ・ ● 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2500				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	水深 0.30m～0.5m。流れは緩やかな平瀬になっている。この区間は透明度もよく河床がみえる。11K300 付近からカーブになっているが洲はみられない。河床に沈水植物が生育している。				
	河幅	河道幅	20.00m～18.5m			
		水面幅	12.50m～13.00m			
	特記事項	生物の生息空間	河床の沈水植物は魚類などの生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸天端に柵が設けられている。			
		左岸	11K300（上土橋下流）から下流には護岸天端に柵はないが上土橋から上流には柵が設けられている。			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	34	距離	11K550	～	11K900	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	-1/2058 (河床は逆勾配)				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	水深は安東川との合流点から巴川歩道橋付近までは 0.50m～0.20mで洲がみられる。巴川歩道橋から上流に向かって、漁巢ブロックや階段が設けられている。沈水植物が生育している。				
	河幅	河道幅	18.50m～25.00m			
		水面幅	13.00m～13.00m			
	特記事項	生物の生息空間	河床の沈水植物は魚類の生息空間になっていると考えられる。法面の水生・陸生植物は昆虫・野鳥の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	巴川歩道橋から上流に向かって法面には水生・陸生植物が生育している。パイパスまでは法の天端に柵が設けられている。			
		左岸	同上 11K800 付近の護岸は土圧による傾斜がみられる。 法の天端には柵が設けられている。			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項 (原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
(1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	35	距離	11K900	～	12K250	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な田畑（右岸）～市街地（左岸）・泥層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ●2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/1842				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	この区間からは透明度がなく水深は0.5m～0.1m程度。流れは緩やかな平瀬になっている。河床には沈水植物が生育している。				
	河幅	河道幅	25.00m～21.70m			
		水面幅	13.00m～13.60m			
	特記事項	生物の生息空間	沈水植物や寄石は魚類の生息空間、法面の水生・陸生植物は昆虫や野鳥の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	法の天端に柵はない。法面には階段が設けられている。			
		左岸	12K050 付近から法の天端は自転車、歩行者道になっている。鋼矢板護岸には、バイパスの上流付近から上流に向かって寄石がある。法面には階段護岸が設けられている。			
その他		つり人がみられる。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	36	距離	12K250	～	12K600
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な田畑（右岸）・市街地（左岸）・泥層			
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M			
	勾配	-1/35087（河床は逆勾配）			
	河床状況	泥砂			
	河道状況	この区間の水深は0.2m～1.0m程度。流れは緩やかな平瀬になっている。特に（二）浅畑川との合流点は土砂が堆積し陸化している。長崎鼻橋の下流では護岸梁が設けられている。河床には沈水植物が生育している。			
	河幅	河道幅	21.70m～26.00m（12K550）		
		水面幅	13.60m～16.60m（ 〃 ）		
	特記事項	生物の生息空間	沈水植物や寄石は魚類の生息空間に、また、法面の水生、陸生植物は昆虫や野鳥の生息空間になっていると考えられる。		
右岸		法の天端に柵はない。			
左岸		自転車、歩行者道の法の天端には柵が設けられている。長崎鼻橋から流通大橋の法の天端には廃車が置かれている。			
その他					

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	37	距離	12K600	～	12K950	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な田畑（右岸）～麻機遊水地第3工区（左岸）				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ● 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/1093				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	水深は0.1m～0.3m程度。流れはやや早い平瀬になっている。河床に沈水植物が法面には水生・陸生植物が生育している。浅畑川の合流点から上流に向かって河床は年々浅くなっている。				
	河幅	河道幅	26.00m (12K550) ～21.00m			
		水面幅	16.60m (") ～11.00m			
	特記事項	生物の生息空間	沈水植物や法面の水生・陸生植物は魚類、昆虫、野鳥の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	・ 法の天端に柵はない。			
		左岸	・ 麻機遊水地第3工区の越流堤が設けられている。			
その他		・ 12K950 付近から上流に生育しているヤナギは遊水地と巴川を継ぐ野鳥や昆虫のコリドー（回廊）になっている。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	38	距離	12K950	～	13K300	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な田畑・麻機遊水地第4工区（右岸）～麻機遊水地第3工区（左岸）・泥層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	-1/35087（河床は逆勾配）				
	河床状況	泥砂				
	河道状況	水深は0.20m～0.40m。流れはやや早い平瀬になっている。右岸に七曲川が合流し、ここには礫（蛇籠から出たものと思われる）がみられる。河床や法面には水生・陸生植物が生育している。				
	河幅	河道幅	21.00m～18.60m			
		水面幅	11.00m～11.20m			
	特記事項	生物の生息空間	礫や水生・陸生植物は魚類や昆虫、野鳥の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	法面には水生、陸生植物が生育している。（一）山脇古庄線に隣接して七曲川の上流には遊水地第4工区がある。			
		左岸	同上			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	39	距離	13K300 ~ 13K650	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な畑（右岸）・麻機遊水地第1工区（左岸）・泥層		
	セグメント	3 ・ ● 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M		
	勾配	1/2058		
	河床状況	泥・砂・砂利		
	河道状況	水深は0.2m～0.5m程度。流れはやや早い平瀬になっている。13K600付近に洲が形成されている。河床には沈水植物や抽水植物が生育し、法面には水生・陸生植物が生育している。左岸沿いには洲が上流に向かって形成され抽水植物が生育している。		
	河幅	河道幅	18.60m～20.00m	
		水面幅	11.20m～9.00m	
	特記事項	生物の生息空間	沈水植物や抽水植物は魚類などの生息空間に、また法面の植物は昆虫や鳥類の生息空間になっていると考えられる。	
		右岸	法の天端には柵はない。法面の水生・陸生植物が生育している。	
		左岸	南漆山橋の下流に（普）樋橋川、（普）柳原水路が合流している。法の天端には柵が設けられている。法面は右岸と同じ植物が生育している。	
その他		澗筋の抽水植物は河床が浅くなり生育したと思われる。		

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	40	距離	13K650	～	14K000	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な田畑（右岸）、麻機遊水地第1工区（左岸）・泥層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ ● 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/1166				
	河床状況	砂・砂利・礫				
	河道状況	この区間は法線が北に向って大きく曲線を描く。水深は有永南橋梁付近から0.1m～0.2mになる。このことから滞筋の中央と左右岸に沿って洲が形成され、早瀬もみられる。洲に生育する植物は丈の低い水生植物になる。				
	河幅	河道幅	20.00m～19.00m			
		水面幅	9.00m～11.40m			
	特記事項	生物の生息空間	砂利や礫などの河床材や水生植物は魚類の生息空間になっていると考えられる。この付近にはカワセミやコサギがよくみられる。			
		右岸	護岸は有永橋梁よりブロック張の護岸で、法面の植物は少なくなる。護岸の天端には柵が設けられている。			
		左岸	同上			
その他		3K800 付近の右岸には（普）谷津口川が流入している。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	41	距離	14K000	～	14K350
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な田畑・麻機遊水地第1工区（左岸）～泥砂礫五層			
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ ●1 ・ M			
	勾配	1/202			
	河床状況	砂・砂利・礫			
	河道状況	水深は0.1m～0.3m。この区間より河床勾配も大きくなって、滞筋には上流から流れてきた土砂が堆積し洲をつくり早瀬も所どころにみられる。第1号橋より上流は浅くなっているが洲はない。			
	河幅	河道幅	19.00m～16.00m		
		水面幅	11.40m～9.20m		
	特記事項	生物の生息空間	砂利や礫などの河床材や水生植物は魚類の生息空間になっていると考えられる。この区間には下流と同様にカワセミやコサギがみられる。		
右岸		護岸は下流と同様のブロック張で、法面の植物は少ない。護岸の天端に柵が設けられている。			
左岸		同上			
その他					

参考文献

① 周辺の地形は静岡広域都市計画図

② 地質は静岡・清水地域地質図

③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	42	距離	14K350	～	14K700	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な田畑・泥がち砂泥礫互層～泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ ●1 ・ M				
	勾配	1/209				
	河床状況	砂・砂利・礫・玉石				
	河道状況	水深は 0.10m～0.4m程度。落差工から下流の河床はほぼ平坦で第 2 号橋の下流に洲が形成されようとしている。落差工の上流には浮石が多くみられる。早瀬が所どころにみられる。				
	河幅	河道幅	16.00m～17.00m			
		水面幅	9.20m～6.00m			
	特記事項	生物の生息空間	砂利・礫・玉石などの河床材や落差工の下は淵になっていて、魚類などの生息空間になっていると考えられる。下流と同様にコサギ、カワセミがよくみられる。			
		右岸	護岸はブロック張で法面の植物は少ない。護岸の天端には柵が設けられている。			
		左岸	同上			
その他						

参考文献

① 周辺の地形は静岡広域都市計画図

② 地質は静岡・清水地域地質図

③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成 9 年 5 月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	43	距離	14K891	～	15K500	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な田畑・泥がち泥砂礫互層～泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ ●1 ・ M				
	勾配					
	河床状況	砂利・礫・玉石				
	河道状況	水深は0.10m～0.50m程度。浮石（0.30m～0.60m）が数多くあり早瀬になっている。				
	河幅	河道幅	17.00m～17.30m （落差工前）			
		水面幅	6.00m～5.50m （ 〃 ）			
	特記事項	生物の生息空間	砂利・礫・玉石（浮石）などの河床材は魚類などの生息空間になっていると考えられる。コサギ、カワセミがみられる。			
		右岸	護岸はブロック張で法面の植物は少ない。護岸の天端には柵が設けられている。			
		左岸	同上			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	43-1	距離	～	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な田畑・泥砂礫瓦層		
	セグメント	3 ・ 2-1 ・ 2-2 ・ 1 ・ M		
	勾配			
	河床状況	砂利・礫・玉石		
	河道状況	水深は0.10m～0.50m程度。灣筋は早瀬になっている。上流は堰から柳田橋の上流約100.00mは巨石張、その上流柳田歩道橋付近まではコンクリート張の河床である。		
	河幅	河道幅	14.00m (1/2500の白図)	
		水面幅	5.00m (")	
	特記事項	生物の生息空間	巨石張やコンクリート張の河床には隙もあって、魚類などの生息空間になっていると考えられる。	
		右岸	護岸はコンクリートブロック積と土羽の部分には陸生の植物が生育している。護岸の天端には柵が設けられている。	
		左岸	同上	
その他				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	44	距離	15K500 ~ 16K550		
河川特性	周辺の地形・地質	やや平坦な市街地・泥砂礫瓦層			
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M			
	勾配				
	河床状況	砂利・礫・玉石・巨石張			
	河道状況	水深 0.10m~0.30m。柳田歩道橋から大橋橋までは本川の改修区間でほぼ直線、大橋橋から上流は蛇行し、所どころに落差工が設けられている。ほぼ全区間に浮石があり洲の所には水生植物が生育している。			
	河幅	河道幅	10.00m (1/2500 白図)		
		水面幅	5.00m (")		
	特記事項	生物の生息空間	砂利・礫・玉石・巨石張は魚類などの生息空間になっていると考えられる。この区間ではセグロセキレイをよくみかける。		
		右岸	護岸はコンクリートブロック積で天端には柵が設けられている。大橋橋の上流と北郷橋の上流には管理用道路がない。		
		左岸	同上		
その他					

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
 (1/5000~水平) (1/2000~1/5000) (1/400~1/2000) (1/60~1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	44-1	距離	14K350	～	14K571	
河川特性	周辺の地形・地質	やや平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配					
	河床状況	砂利・礫・玉石・巨石張				
	河道状況	水深 0.10m～0.50m。(普) 谷津沢川までの河床は巨石張になっている。滞筋には礫・玉石などの浮石がある。所どころに落差工が設けられ、洲には水生植物が生育している。				
	河幅	河道幅	6.0m程度			
		水面幅	5.0m～3.0m			
	特記事項	生物の生息空間	砂利・礫・玉石・巨石張は水生植物や魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	ほぼコンクリートブロック積、市道と平行する区間の護岸天端には柵が設けられている。			
		左岸	同上			
その他						

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項 (原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川河道状況調査票

図面番号	45	距離	16K550	～	17K330	
河川特性	周辺の地形・地質	やや平坦な市街地・泥砂礫互層～砂岩がち互層				
	セグメント	3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配					
	河床状況	砂利・礫・玉石				
	河道状況	水深は 0.10m～0.50m程度。河道は蛇行し、所どころに落差工が設けられ、滞筋は早瀬と淵があって、浮石が目立つ。②～③の視点場には洲もあって水生植物が生育している。				
	河幅	河道幅	10.00m～5.0m (1/2500 白図)			
		水面幅	4.00m～2.00m (")			
	特記事項	生物の生息空間	砂利・礫・玉石の河床材や水生植物は魚類などの生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸はほとんどブロック積で、市道と平行する区間は柵が設けられている。			
		左岸	同上			
その他		現在上流部では巴川の河道はない。第二東名高速道路の工事が行われていて、工事区間の排水はコルゲートパイプ数本で排水されている。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

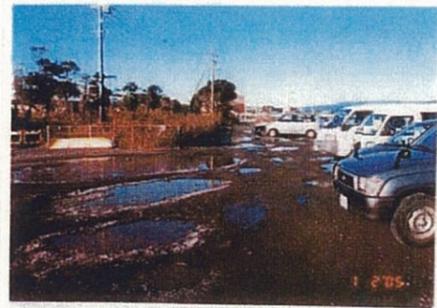
平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

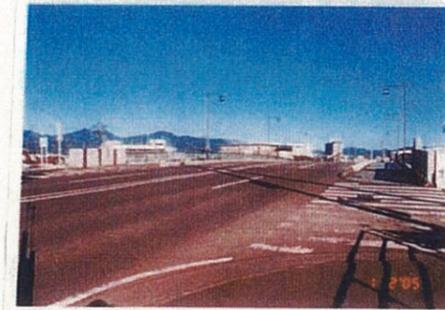
3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

巴川平面図 S=1:1000

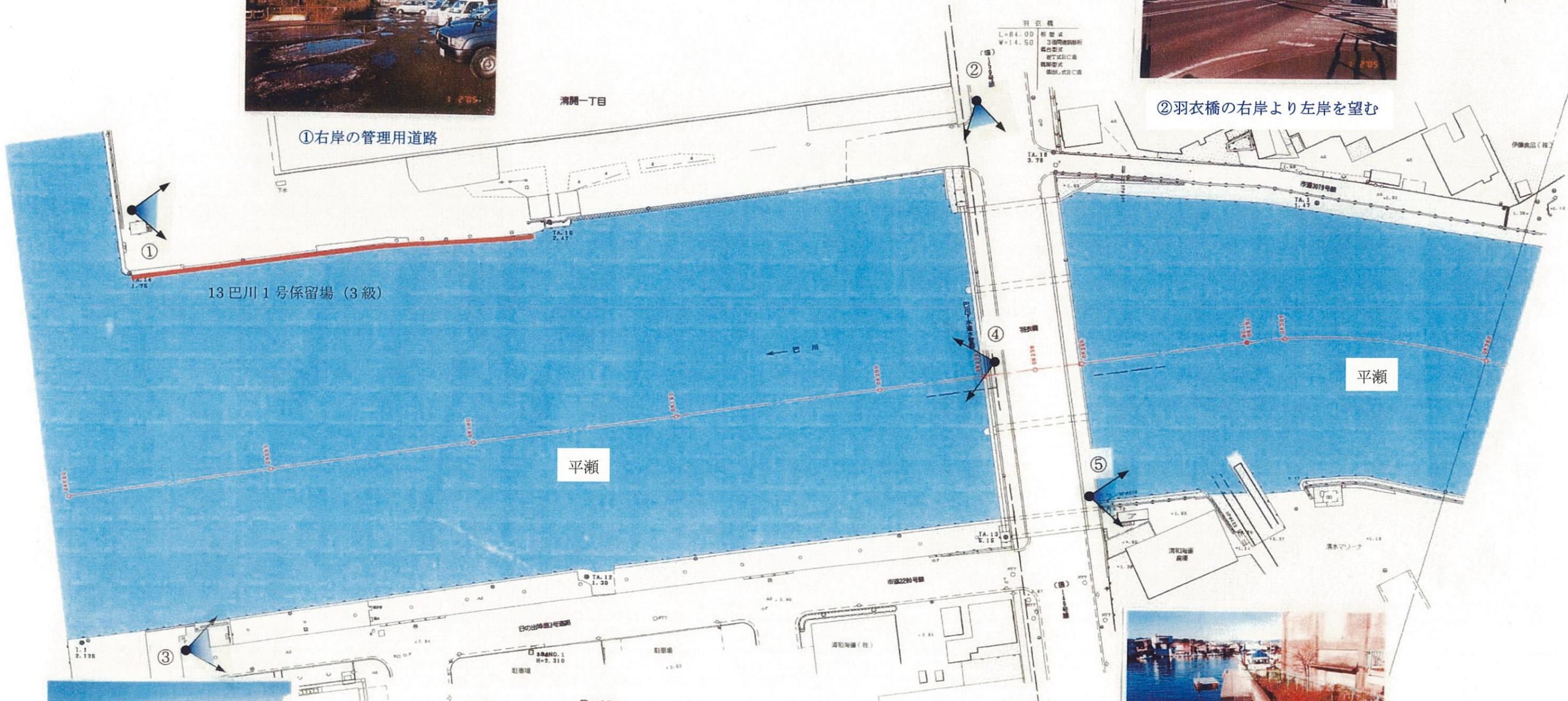
清水市



①右岸の管理用道路



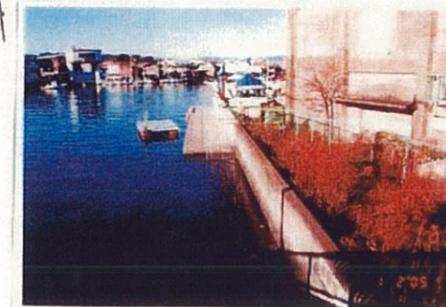
②羽衣橋の右岸より左岸を望む



③左岸の管理用道路



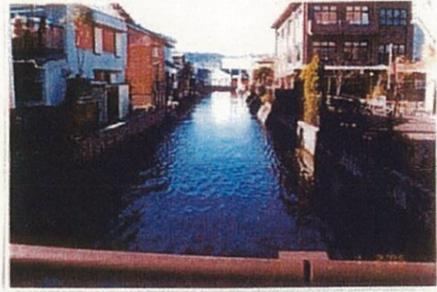
④羽衣橋より河口を望む (橋の下流部は巴川下水道管橋)



⑤羽衣橋の左岸上流

工事名	OK000 - OK350 平成 年度	
工事箇所		
図面の種類	巴川平面図 1	
縮尺 S=1:1000	図面番号	葉中
測量年月日	設計年月日	
事務所名	静岡県静岡土木事務所	

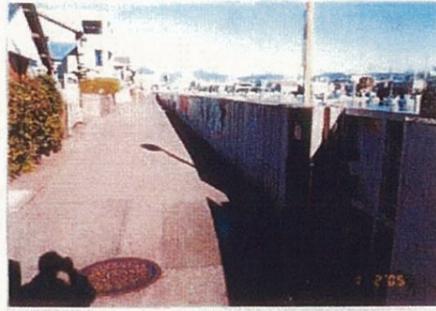
巴川平面図 S=1:1000



① 常念川の上流を望む



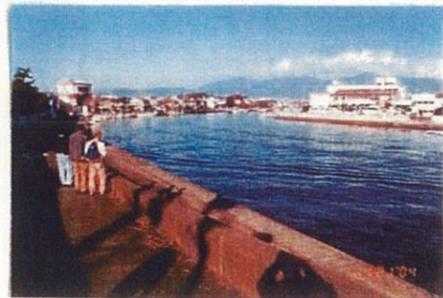
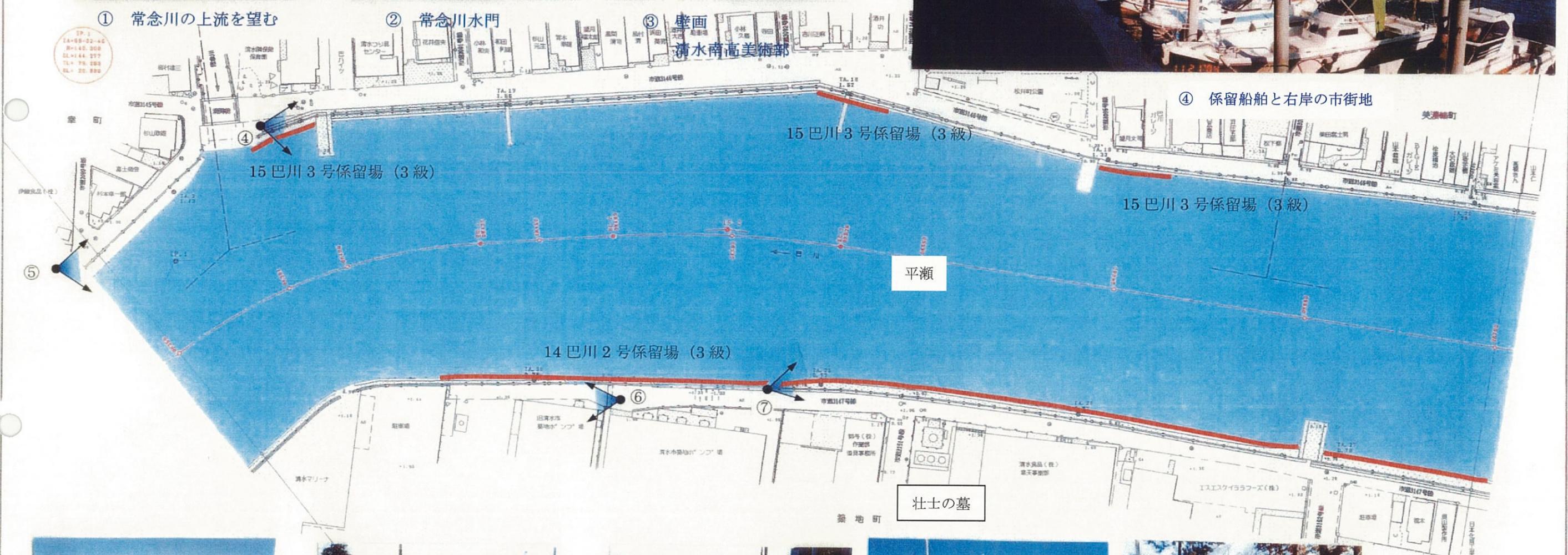
② 常念川水門



③ 壁画
清水南高美術部



④ 係留船舶と右岸の市街地



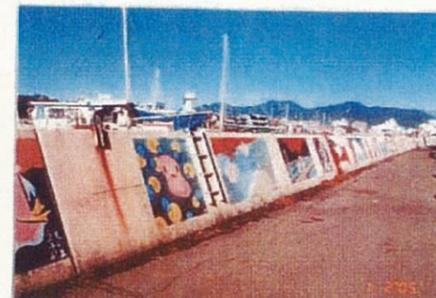
⑤ 係留船舶禁止区間



⑥ 管理道 (行き止まり)



⑦ 係留船舶と左岸の市街地



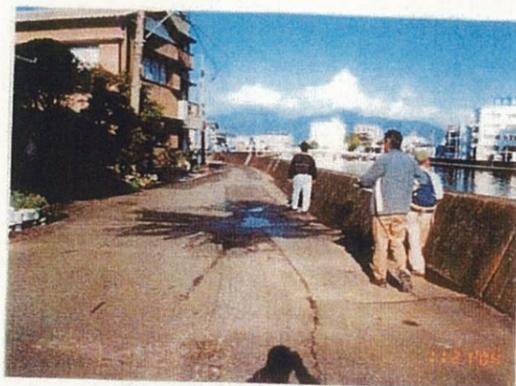
⑧ 壁画
清水南高美術部他



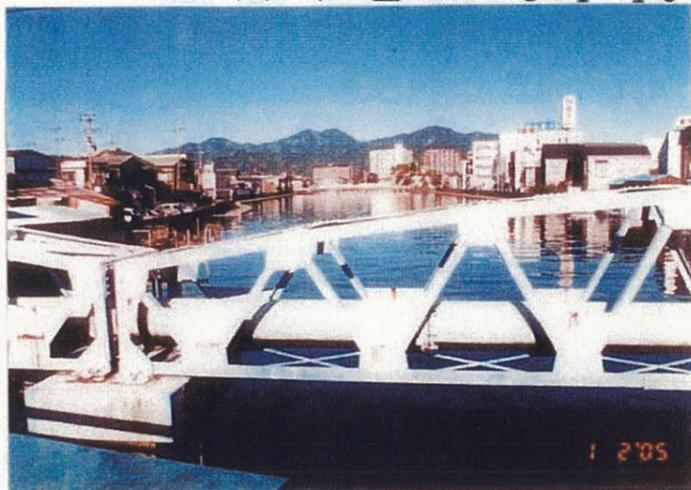
⑨ 壮士の墓

DK350 - DK700 平成 年度	
工事名	
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 2
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所

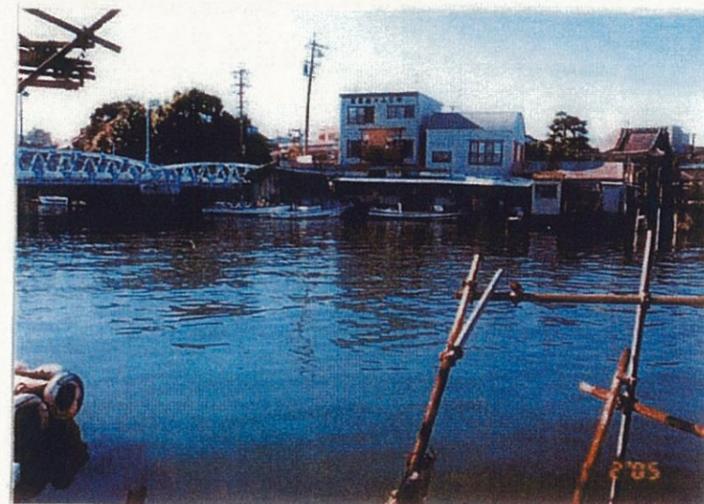
巴川平面図 S=1:1000



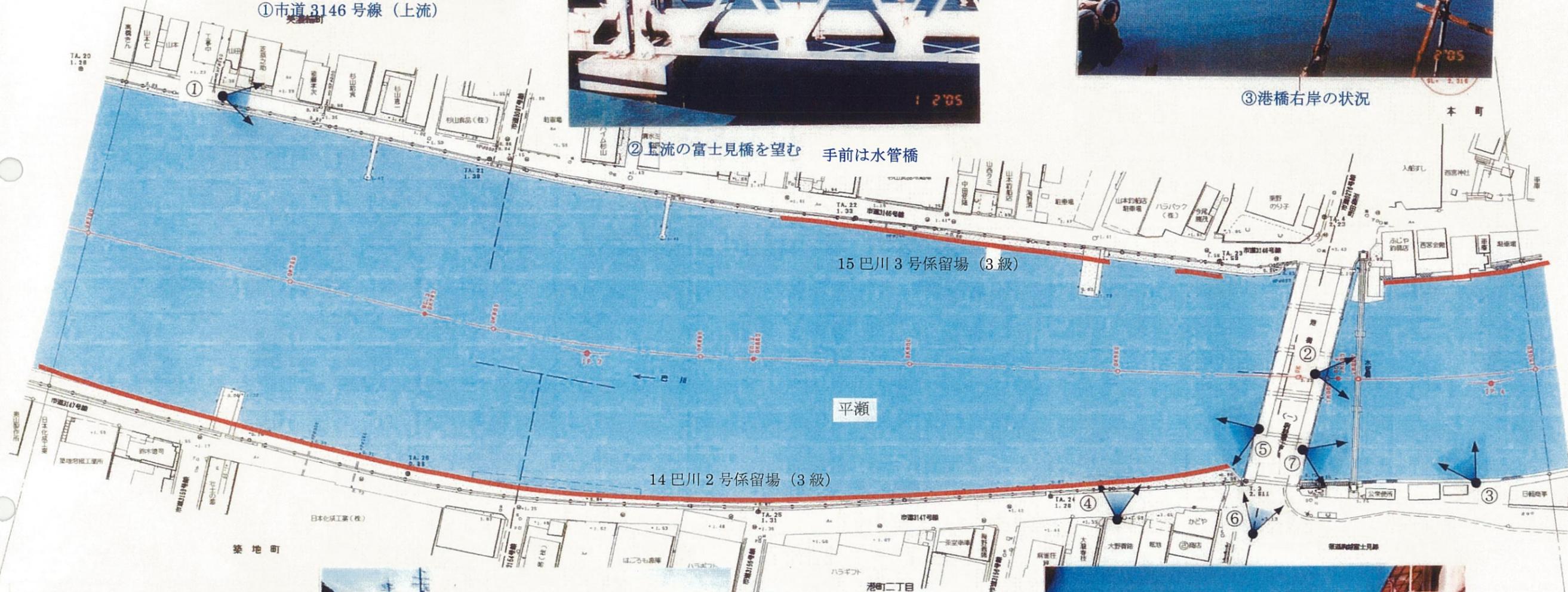
①市道3146号線(上流)



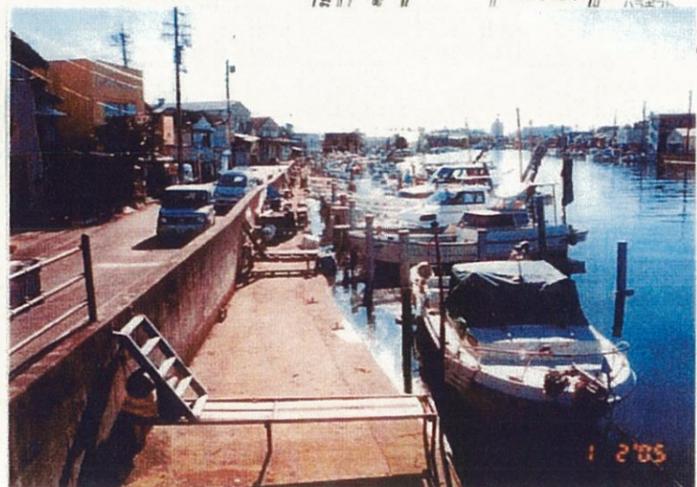
②上流の富士見橋を望む 手前は水管橋



③港橋右岸の状況



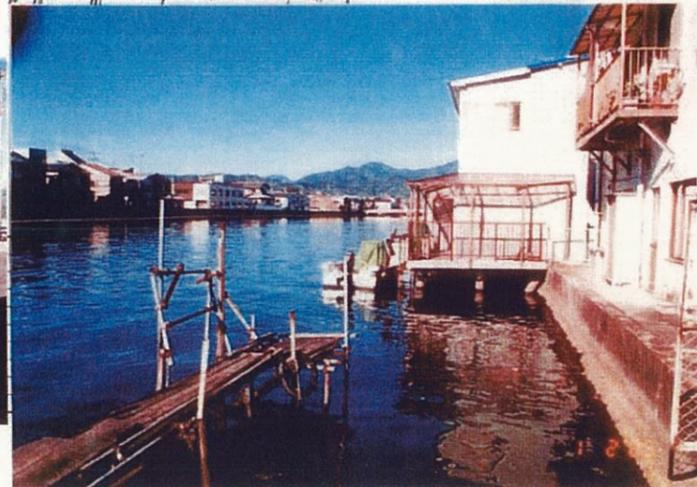
④係留船舶の標識



⑤係留船舶と市道3147号線



⑥港橋の左岸より右岸を望む



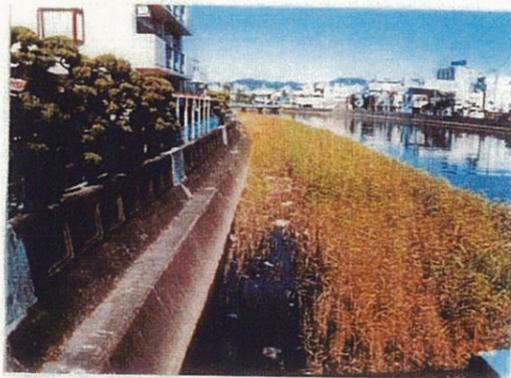
⑦港橋左岸の状況

OK700 - 1K050	
工事名	平成 年度
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図3
縮尺 S=1:1000	図面番号 集中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所

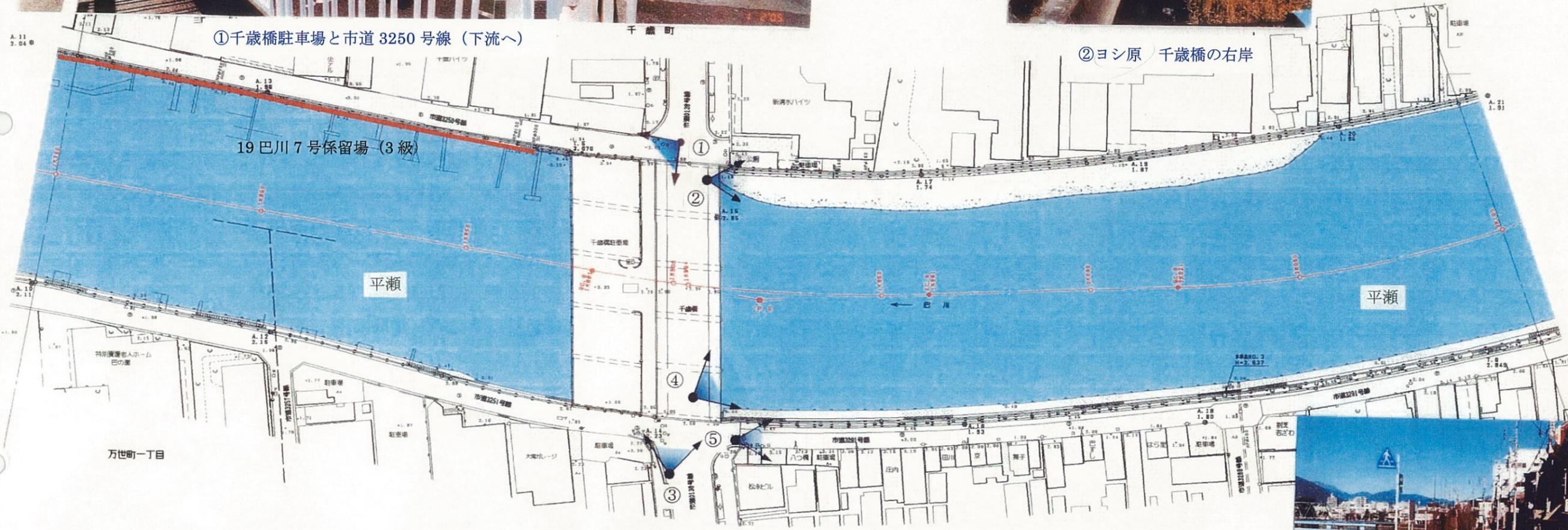
巴川平面図 S=1:1000



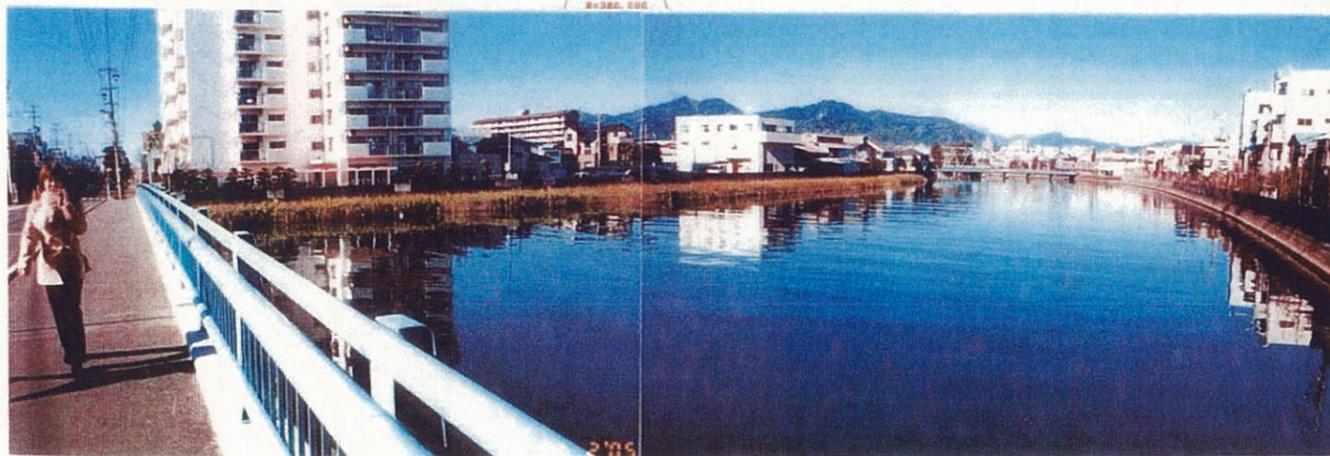
①千歳橋駐車場と市道 3250 号線 (下流へ)



②ヨシ原 千歳橋の右岸



③千歳橋の左岸より右岸を望む



④千歳橋より上流を望む



⑤市道 3291 号線 (上流へ)

1K750 - 2K100	
平成 年度	
工事名	
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 6
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
調査年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所

巴川平面図 S=1:1000

清水市



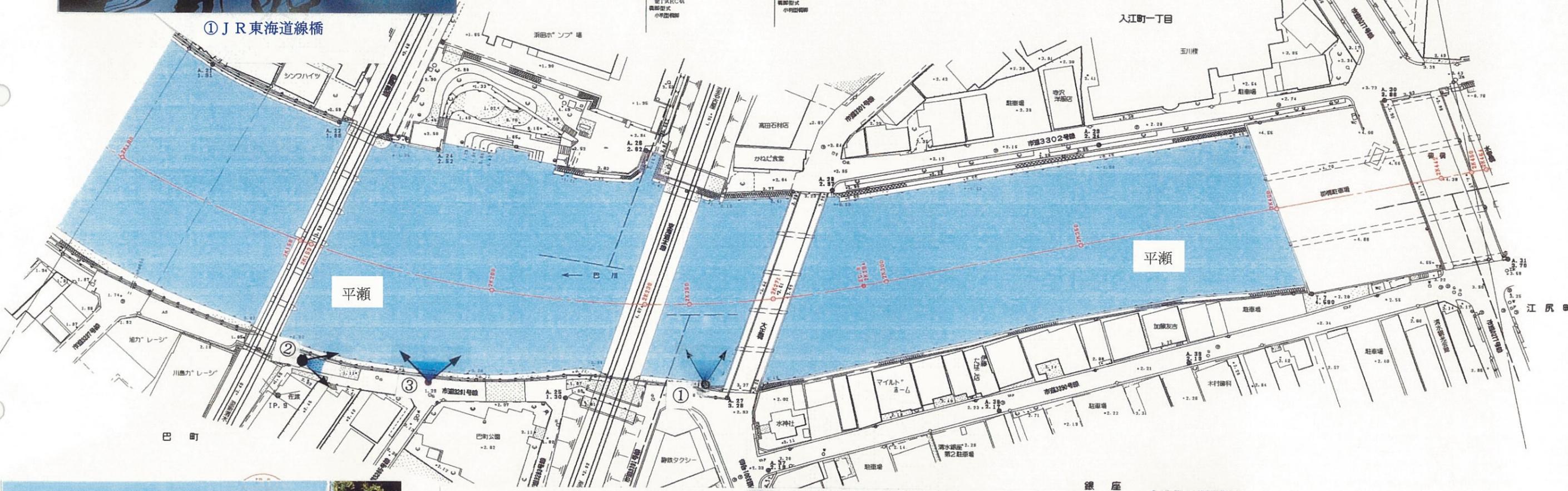
橋長
 L=45.05
 V=14.55
 桁梁式
 丁桁橋
 鋼台形式
 鋼力式
 鋼脚形式
 ラーメン式欄干



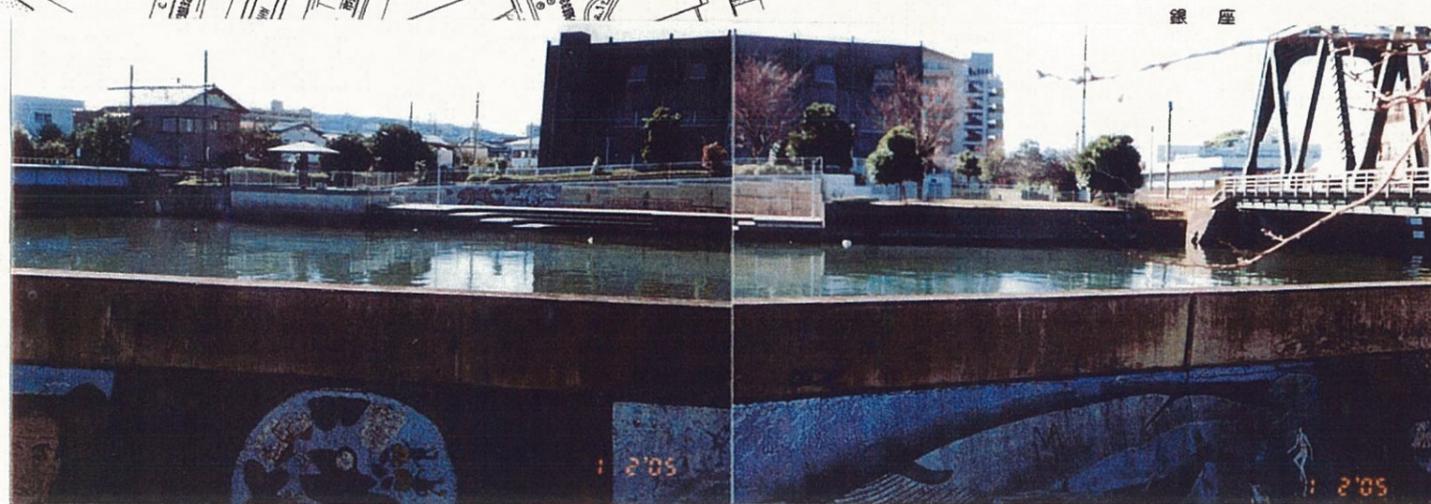
① JR 東海道線橋

JR巴川橋
 L=67.60
 W=11.80
 桁梁式
 I桁橋
 鋼台形式
 鋼力式
 鋼脚形式
 小形鋼脚脚

大正橋
 L=54.75
 W=8.74
 桁梁式
 丁桁橋
 鋼台形式
 鋼力式
 鋼脚形式
 小形鋼脚脚



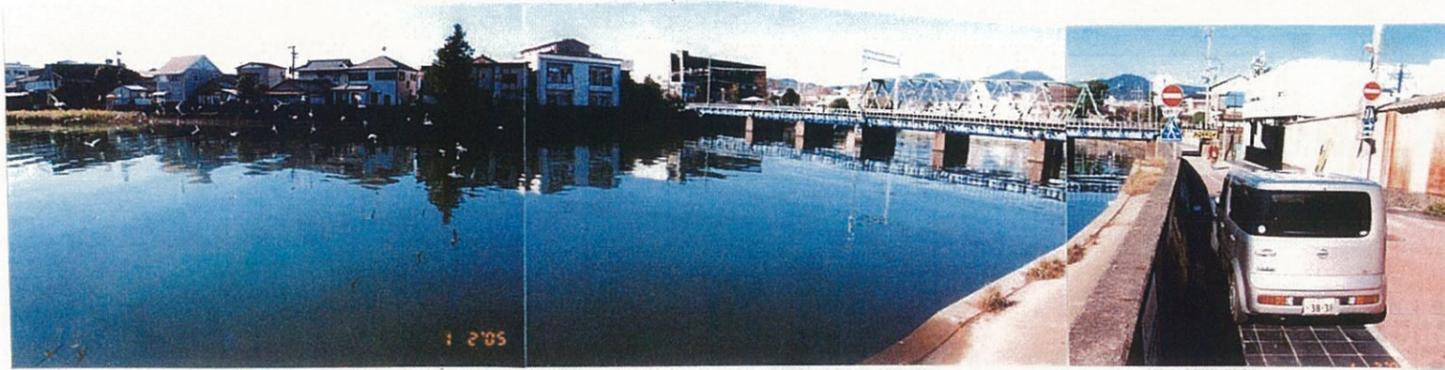
②市道 3291 号線と壁画



③右岸の浜田親水公園を望む

2K100 - 2K450	
平成 年度	
工事名	
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 7-1
縮尺 S=1:1000	図面番号 葉中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所

巴川平面図 S=1:1000



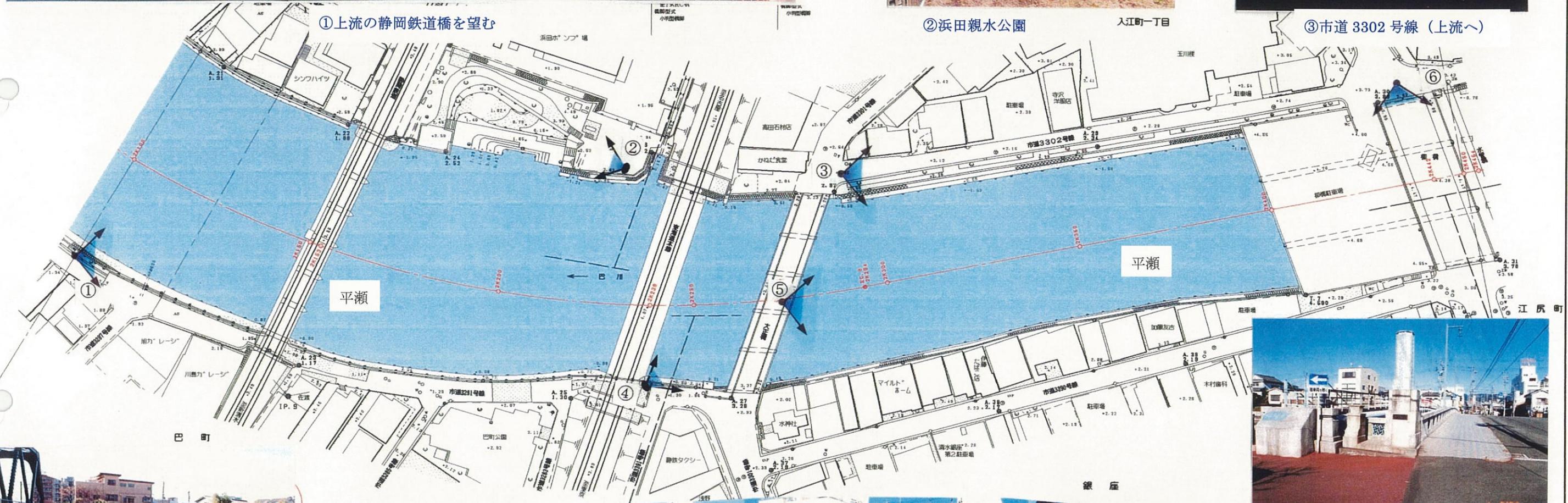
①上流の静岡鉄道橋を望む



②浜田親水公園



③市道 3302 号線 (上流へ)



④大正橋を望む



⑤大正橋より上流を望む



⑥柳橋の右岸より左岸を望む

2K100 - 2K450	
工事名	平成 年度
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 7-2
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日 H	設計年月日 H
事務所名	静岡県静岡土木事務所

巴川平面図 S=1:1000



①稚児橋の右岸より左岸を望む

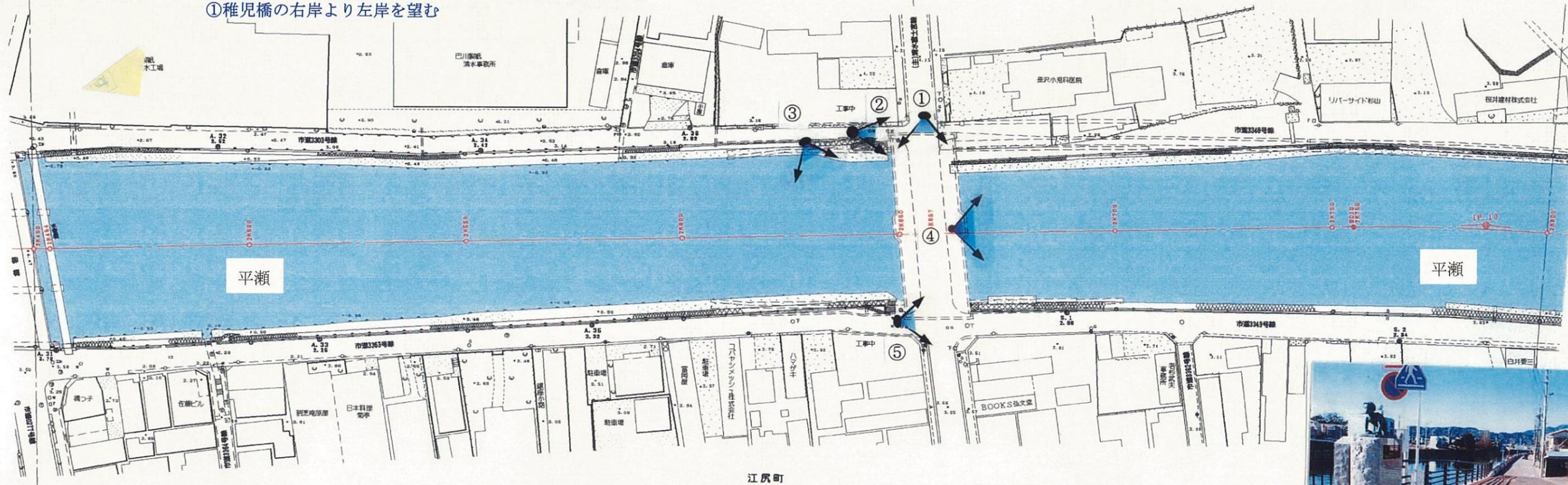


②市道 3348 号線 (上流へ)

清水市

入江町一丁目

稚児橋(計画)
橋形式
L=42.80
W=14.80
橋脚形式
橋台形式
道形式



江尻町



②市道 3349 号線 (上流へ)



③稚児橋左岸の階段



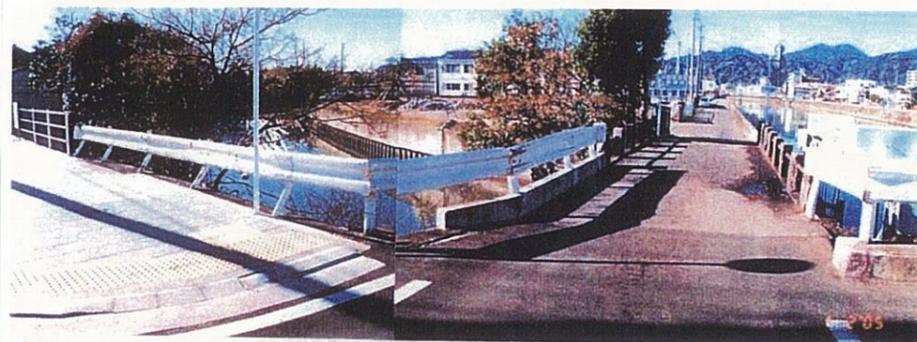
④上流を望む

工事名	2K450 ~ 2K800 平成 年度
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 8
縮尺 S=1:1000	図面番号 葉中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所

巴川平面図 S=1:1000



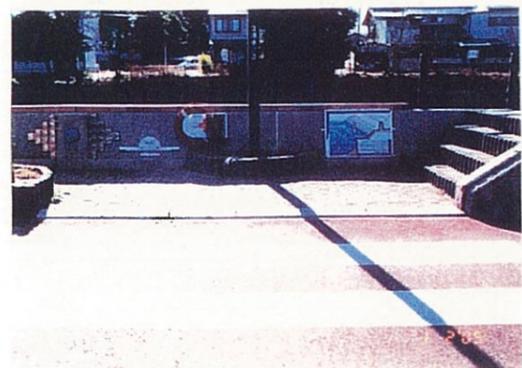
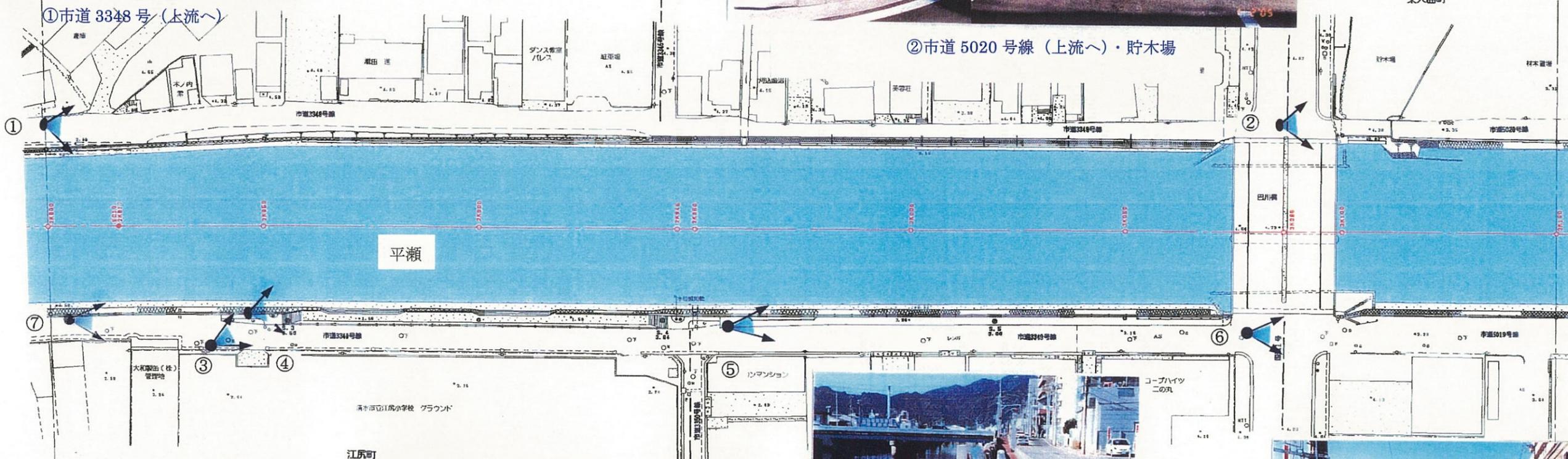
入江町一丁目



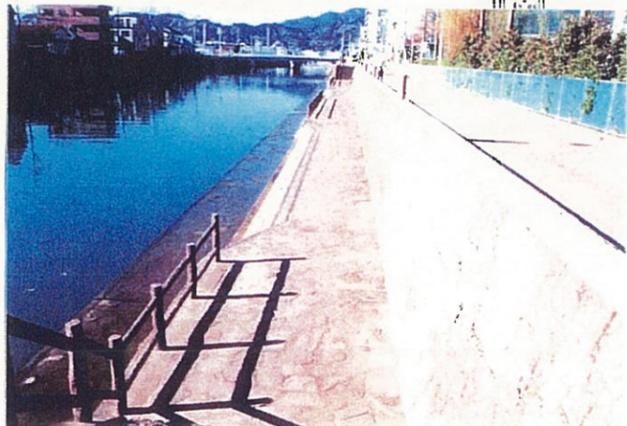
②市道 5020 号線 (上流へ)・貯木場

橋
形式
下り橋
橋脚形式
設計形式
欄干形式
小平石橋脚

東大曲町



③親水護岸に設けられた救命用具



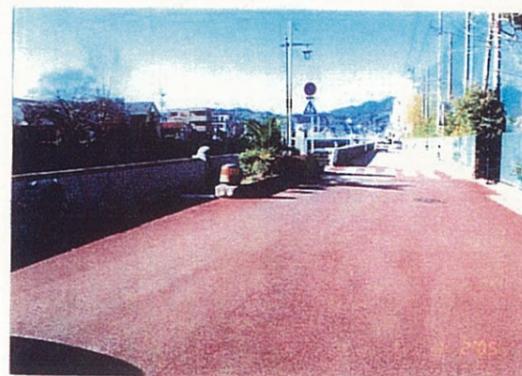
④親水護岸 (上流へ)



⑤モニュメント



⑥市道 5019 号線 (上流へ)

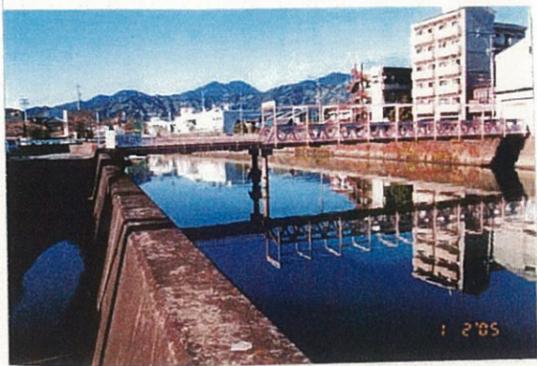


⑦緑地帯

2K800 ~ 3K150

工事名	平成 年度
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 9
縮尺 S=1:1000	図面番号 葉中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所

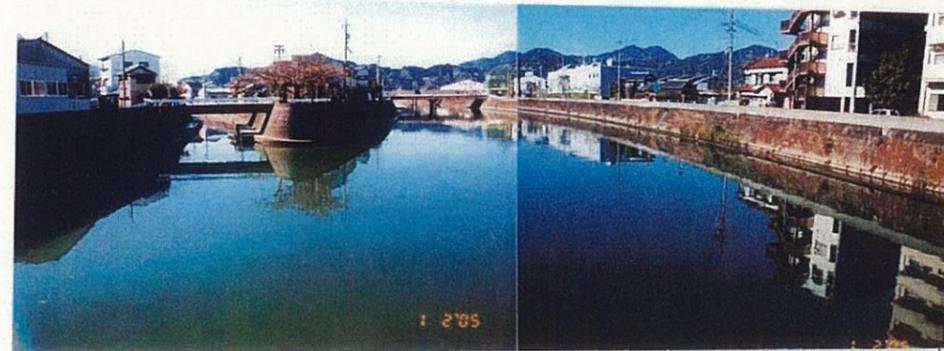
巴川平面図 S=1:1000



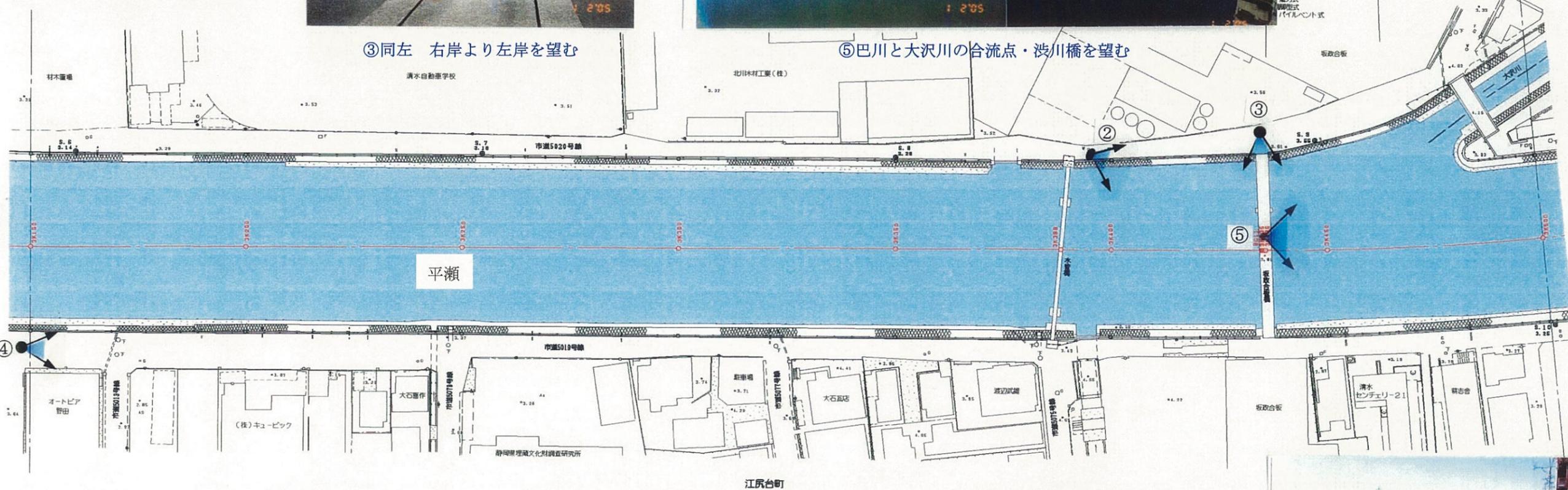
②板政合板橋を望む



③同左 右岸より左岸を望む



⑤巴川と大沢川の合流点・汐川橋を望む



江尻台町



①巴川橋より上流を望む



④市道 5019 号線と壁画
清水工業高校有志他

工事名	平成 年度
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 10
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所



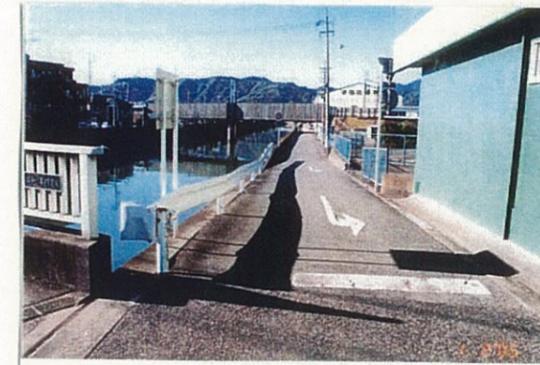
① 市道 5065 号線 (上流へ) 壁面
清水南高校美術部他



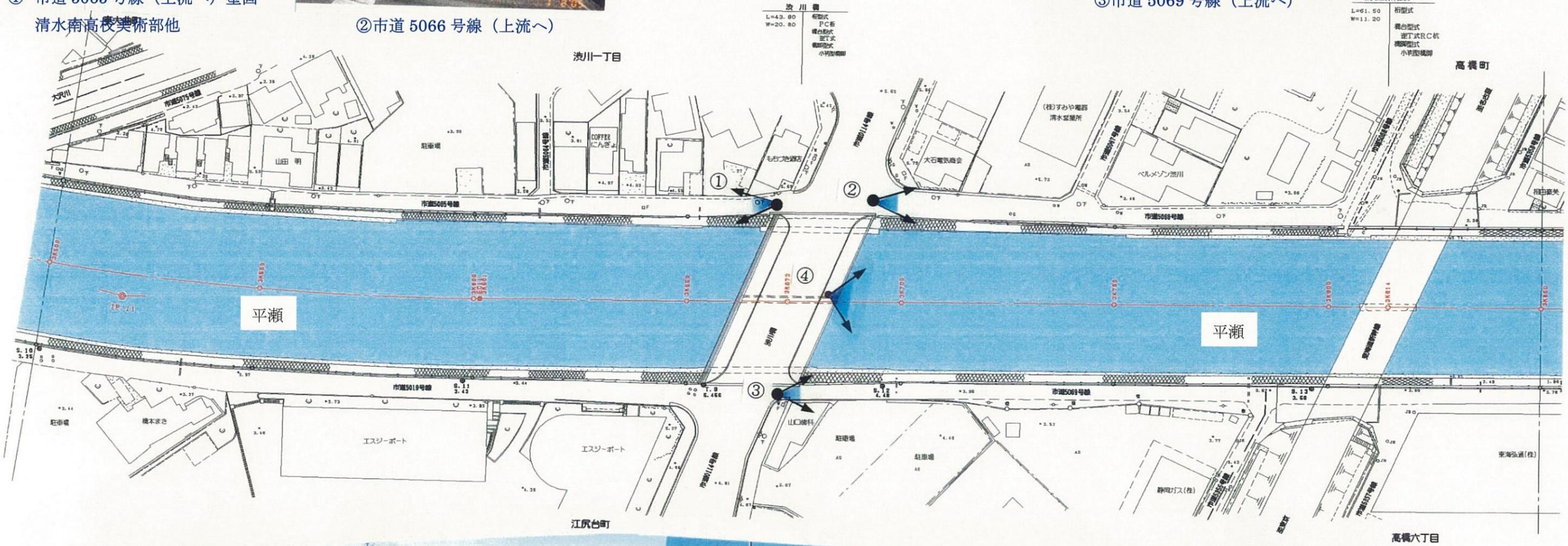
②市道 5066 号線 (上流へ)

巴川平面図 S=1:1000

清水市



③市道 5069 号線 (上流へ)



④渋川橋より上流を望む JR 東海道新幹線の橋

3K500 ~ 3K850	
工事名	平成 年度
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 11
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所

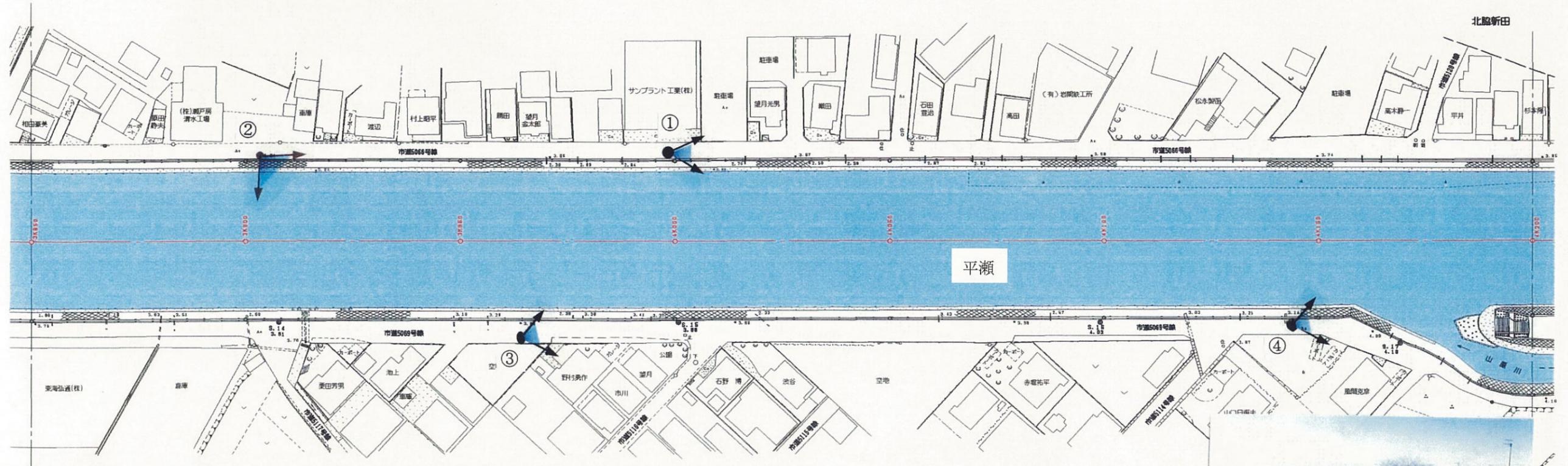
巴川平面図 S=1:1000

清水市



①市道 5066 号線 (上流へ)

高養町

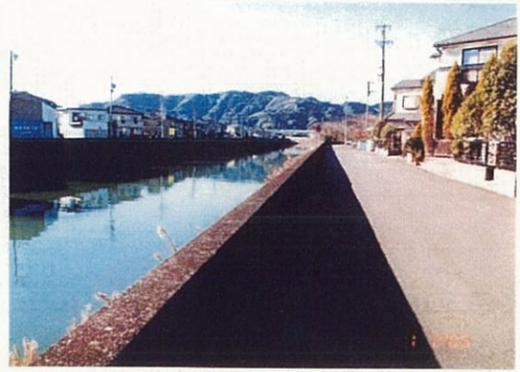


平瀬

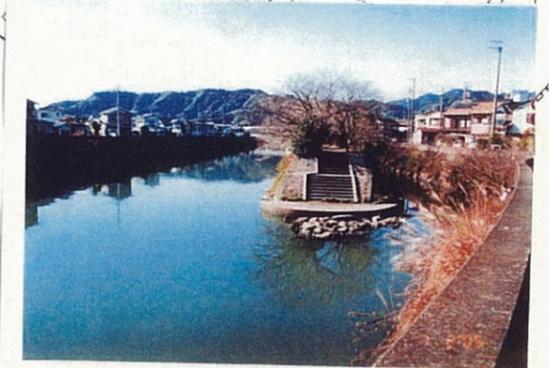
高橋六丁目



②上流を望む



③市道 5069 号線 (上流へ)



④巴川と山原川の背割堤

3KB50 ~ 4K200	
工事名	平成 年度
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 12
縮尺 S=1:1000	図面番号 葉中
測量年月日H	設計年月日H
事務所名	静岡県静岡土木事務所

巴川平面図 S=1:1000

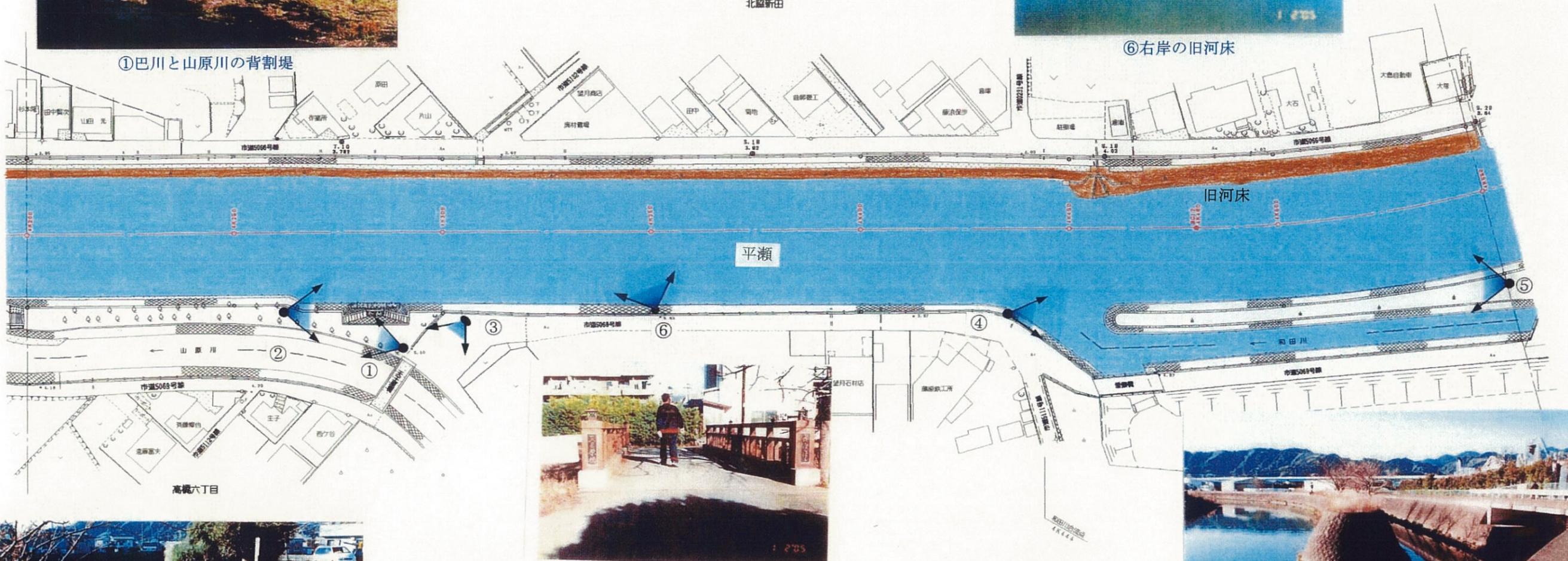
清水市

北脇新田

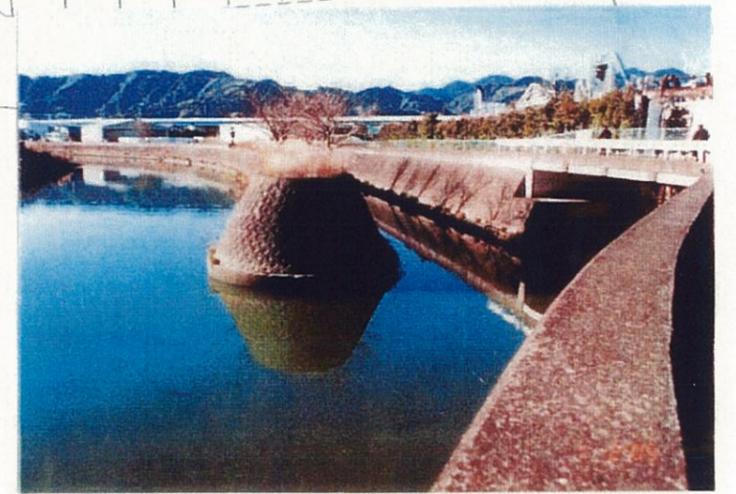


①巴川と山原川の背割堤

⑥右岸の旧河床



③天王原橋



④巴川と和田川の背割堤（上流へ）



②巴川と山原川の背割堤親水階段

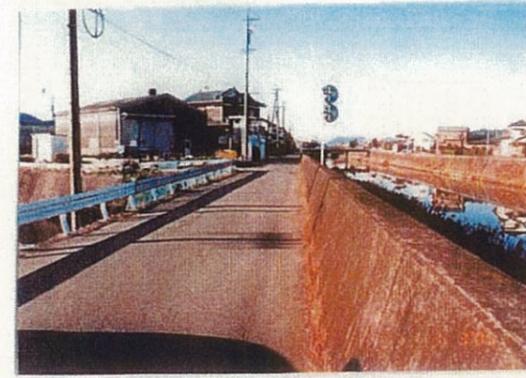


⑤巴川と和田川の背割堤（下流へ）

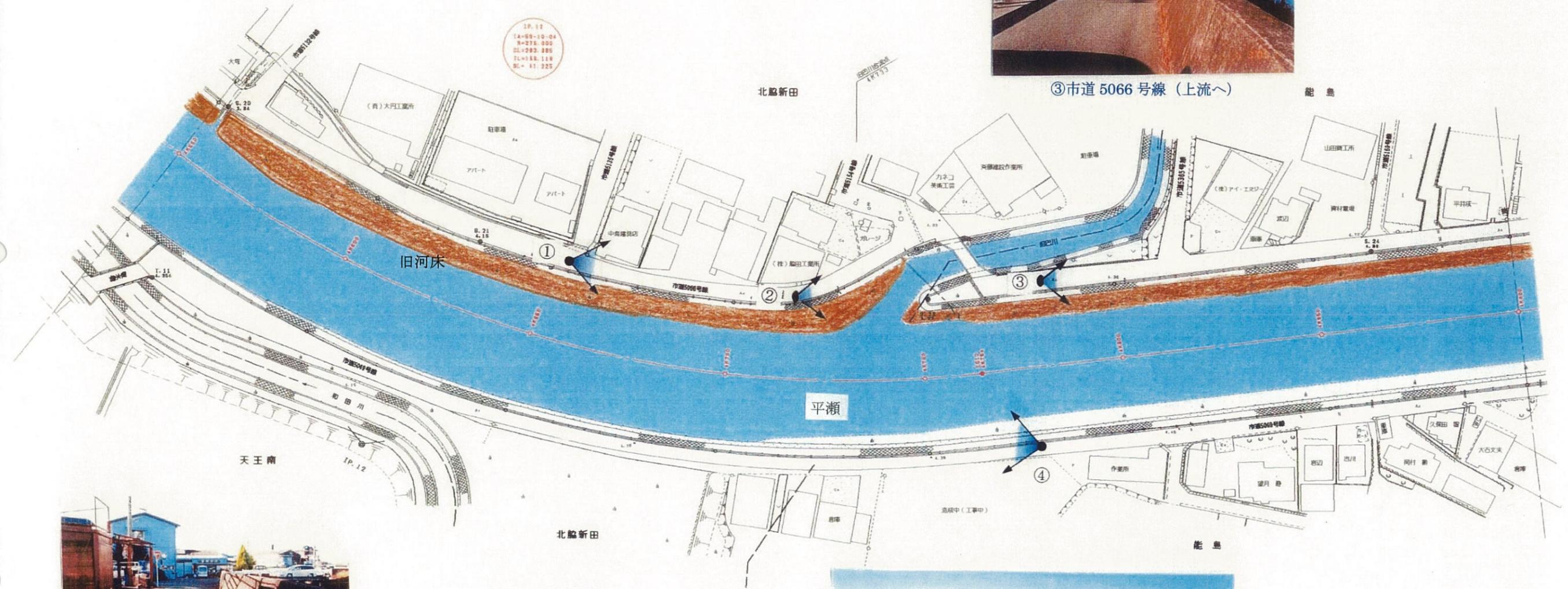
4K200 - 4K550	
工事名	平成 年度
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 13
縮尺 S=1:1000	図面番号 葉中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所

巴川平面図 S=1:1000

清水市



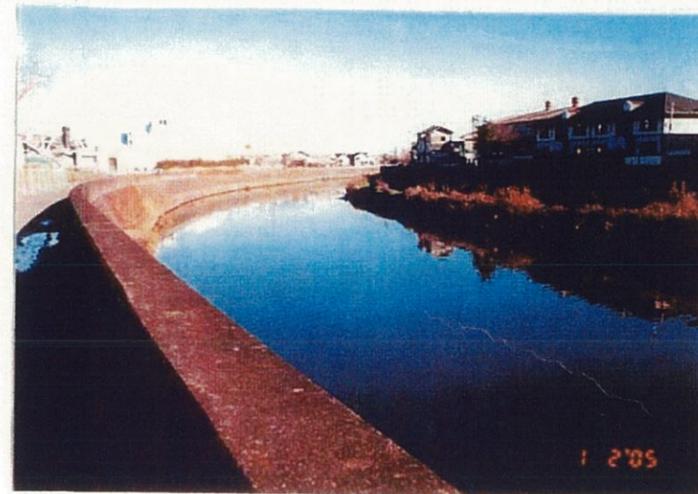
③市道 5066 号線 (上流へ)



①市道 5066 号線 (上流へ)



②巴川と旧巴川の合流点付近



④下流を望む

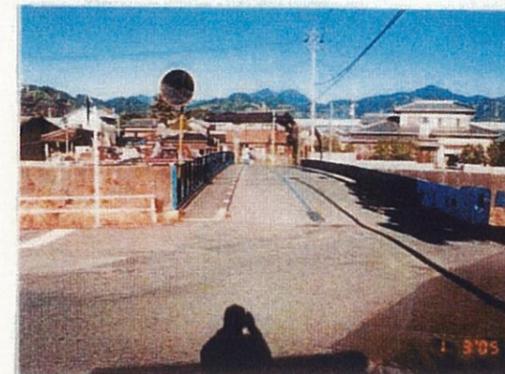
4X550 - 4X900	
工事名	平成 年度
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 14
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所

巴川平面図 S=1:1000

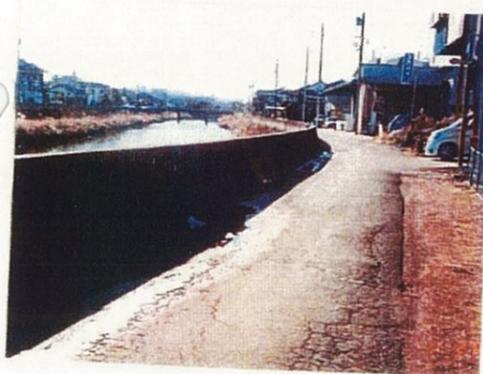
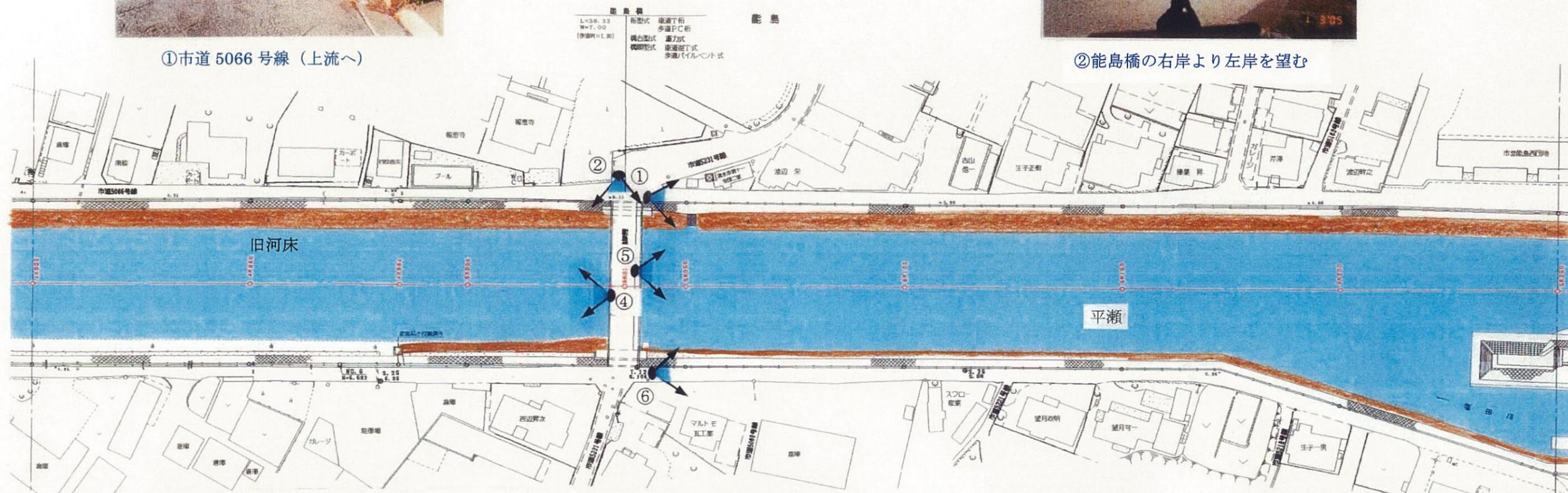
清水市



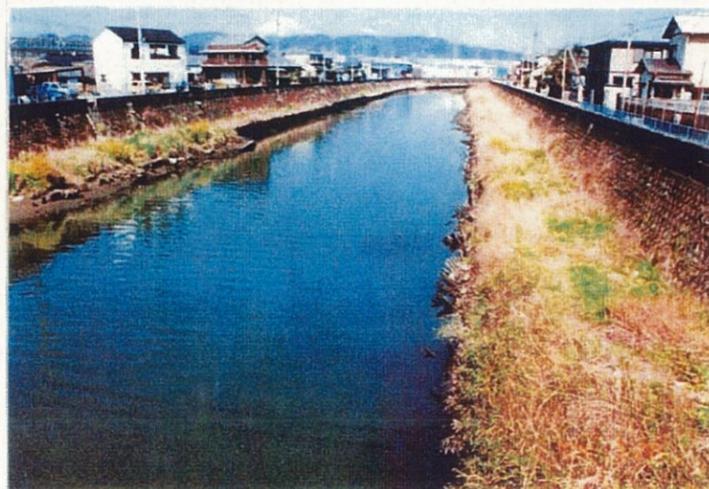
①市道 5066 号線 (上流へ)



②能島橋の右岸より左岸を望む



③市道 5069 号線 (上流へ)



④能島から下流を望む



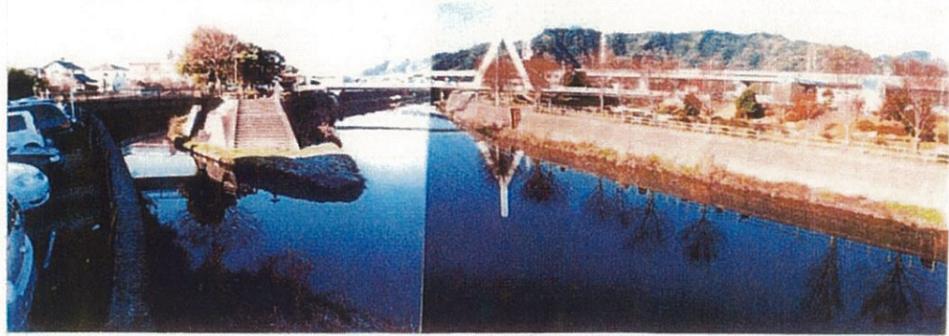
⑤能島橋から上流を望む



⑥市道 5069 号線 (上流へ)

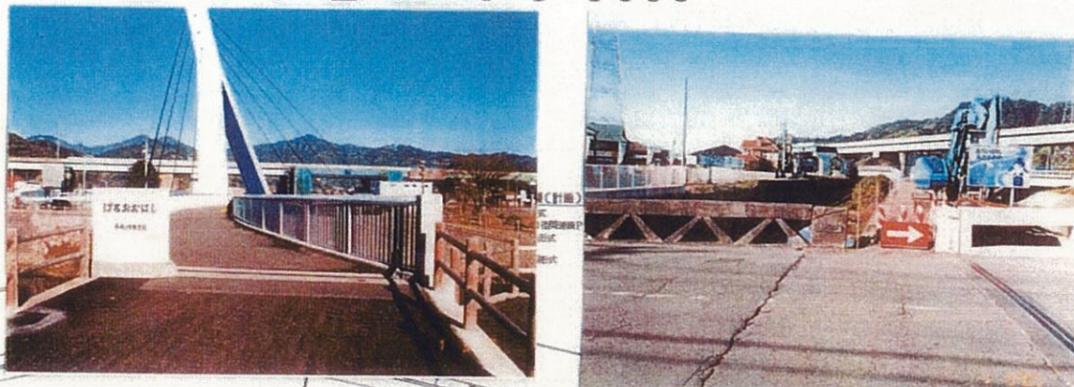
4K900 - 5K250

工事名	平成 年度
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 15
縮尺 S=1:1000	図面番号 葉中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所

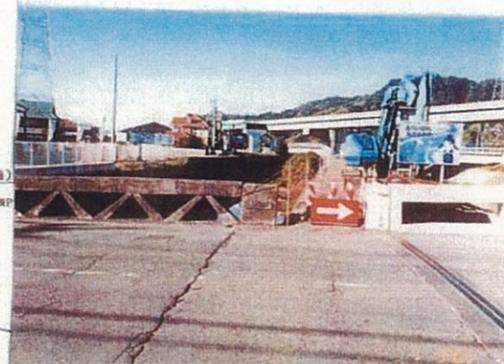


①巴川（能島親水公園・四方沢川）の上流を望む（上流へ）

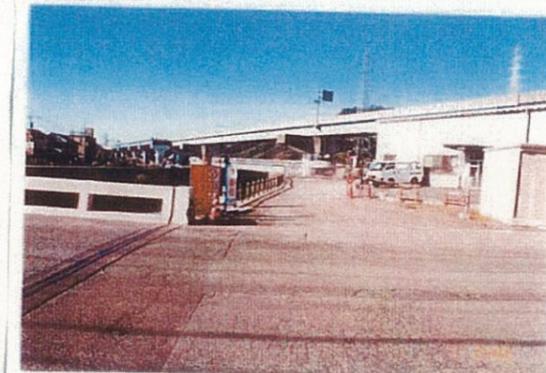
巴川平面図 S=1:1000



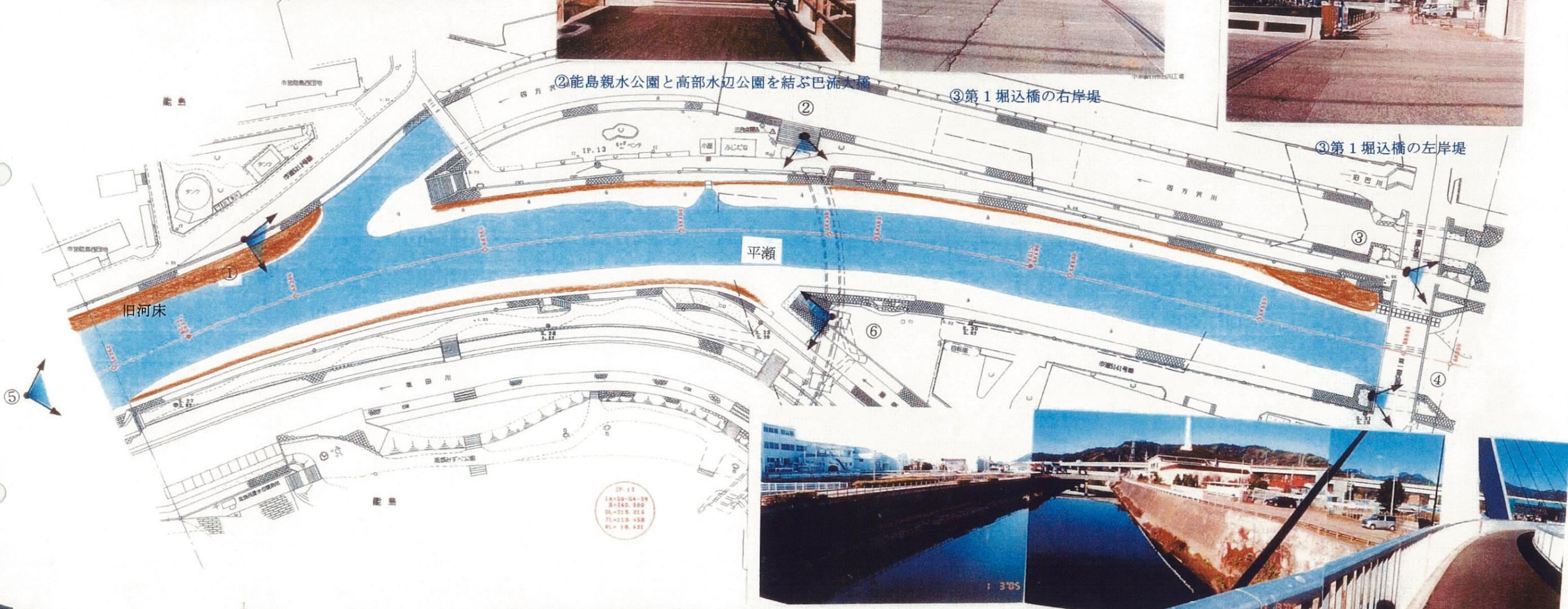
②能島親水公園と高部水辺公園を結ぶ巴流大橋



③第1掘込橋の右岸堤



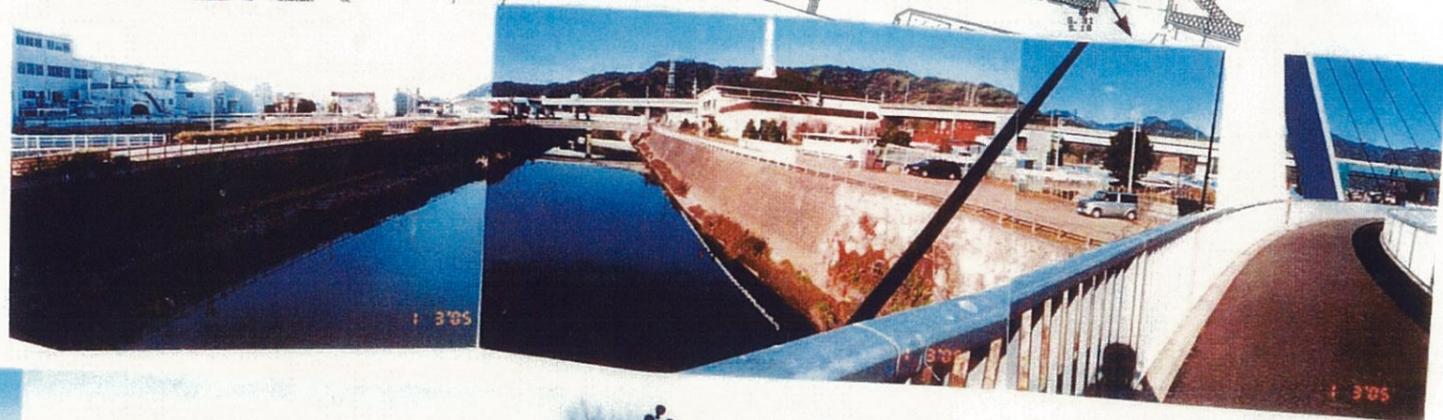
③第1掘込橋の左岸堤



⑤巴川の上流を望む



⑥巴流大橋と高部水辺公園を望む

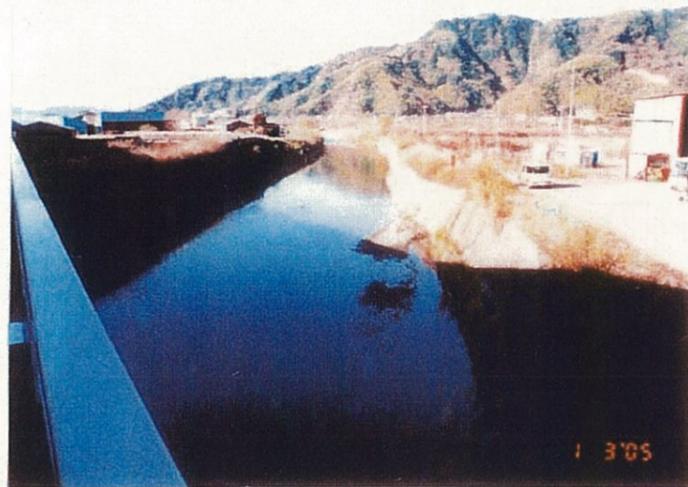


⑦巴流大橋から上流の第1掘込橋を望む

0A400 - 0A600	
平成	年度
工事名	
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 16
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所

巴川平面図 S=1:1000

清水市



清水土木建設協同組合資料室

①静清バイパス側道から上流を望む

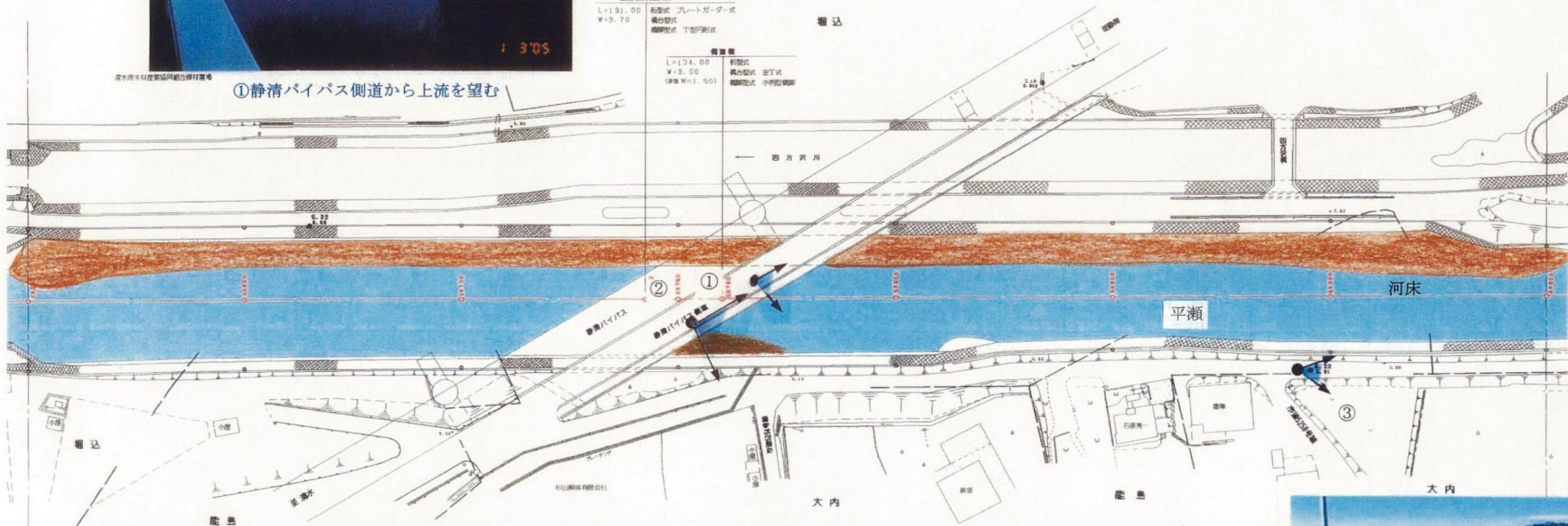
橋長 191.00
橋幅 9.70

形式 フレートガーダー式

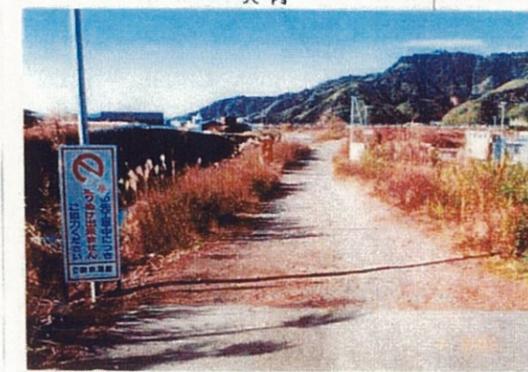
橋台形式 T型形式

欄干形式 T型形式

橋脚形式 T型形式



②静清バイパス側道から巴川の上流と大内遊水地を望む



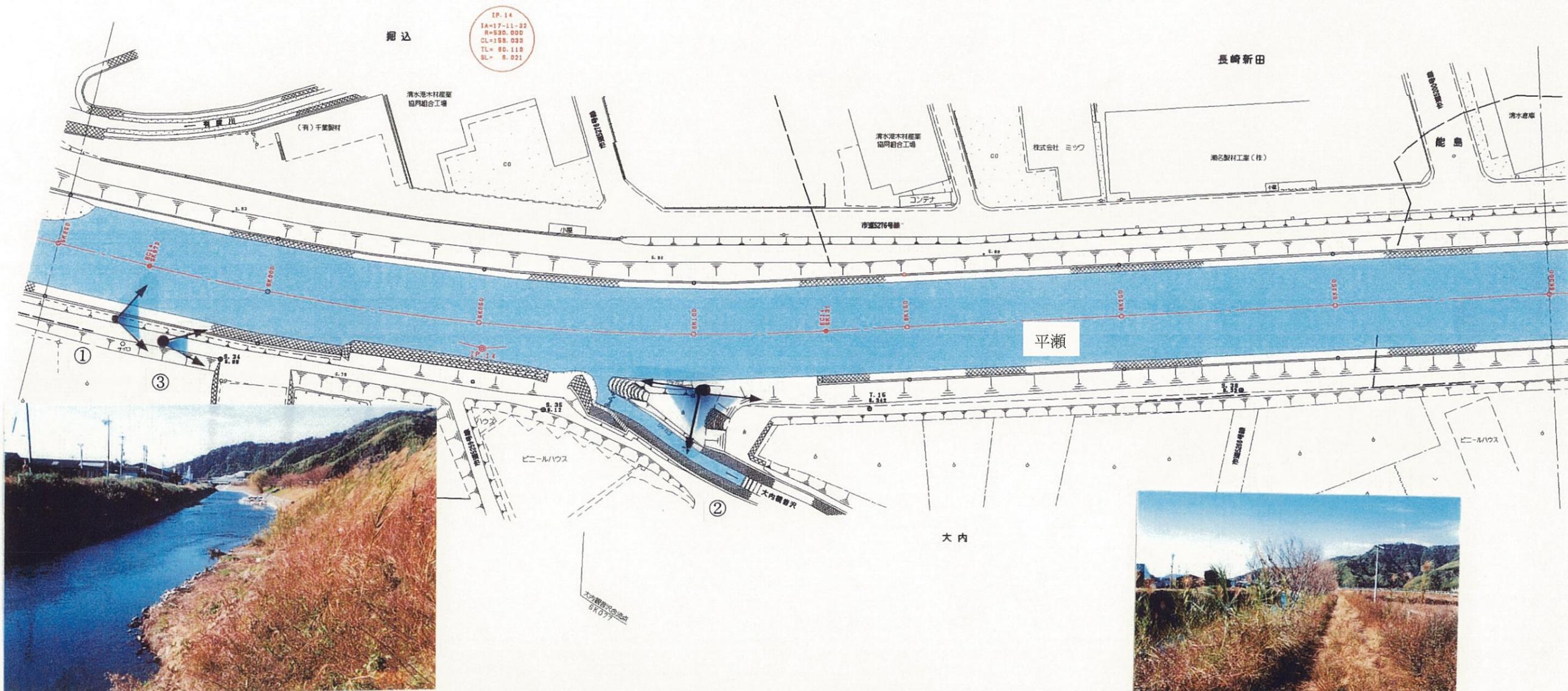
③右岸の側道（上流へ）

5K600 ~ 5K950

工事名	平成 年度
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 17
縮尺 S=1:1000	図面番号 葉中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所

巴川平面図 S=1:1000

清水市



①上流の平瀬を望む



③左岸の側道（上流へ）

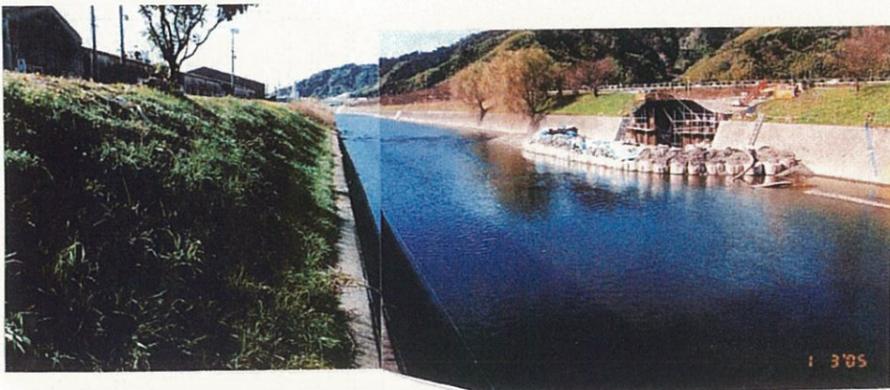


②左岸の側道と大内遊水地（工事中）を望む

▲ 巴川に合流する大内観音沢

5K950 ~ 6K300	
工事名	平成 年度
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 18
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所

巴川平面図 S=1:1000



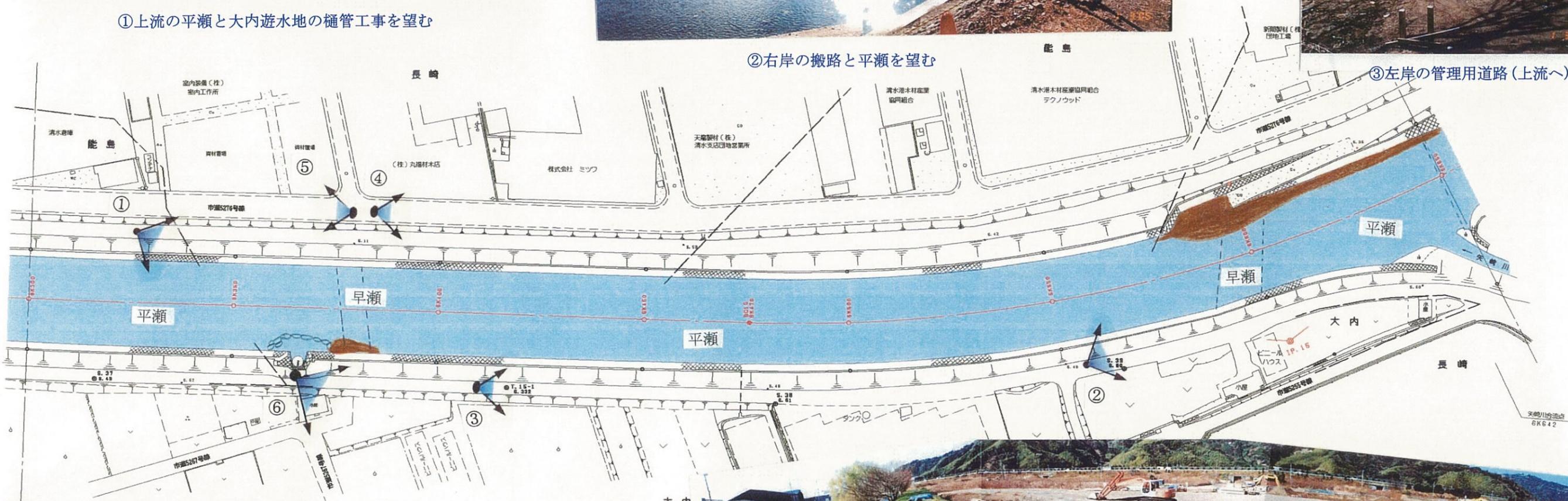
①上流の平瀬と大内遊水地の樋管工事を望む



②右岸の搬路と平瀬を望む



③左岸の管理用道路(上流へ)



④市道 276 号線 (上流へ)



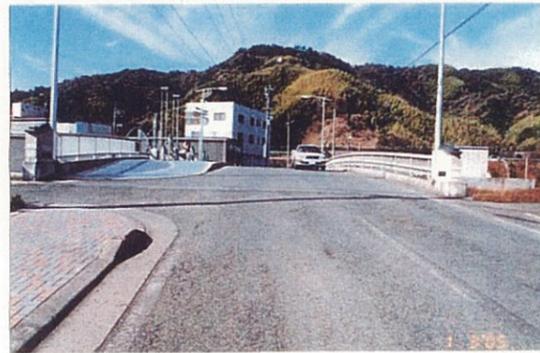
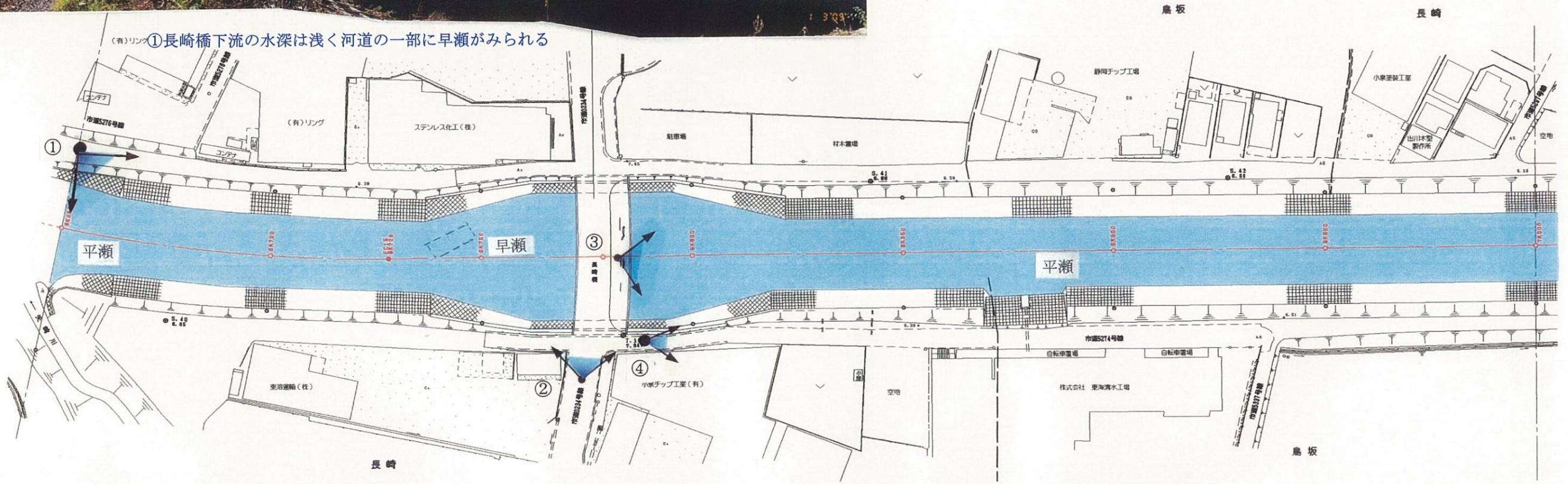
⑤市道 276 号線 (下流へ)



⑥大内遊水地の樋管工事

工事名	平成 年度
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 19
縮尺 S=1:1000	図面番号 葉中
測量年月日 H	設計年月日 H
事務所名	静岡県静岡土木事務所

巴川平面図 S=1:1000



②長崎橋の右岸より左岸を望む



③長崎橋から上流の平瀬を望む

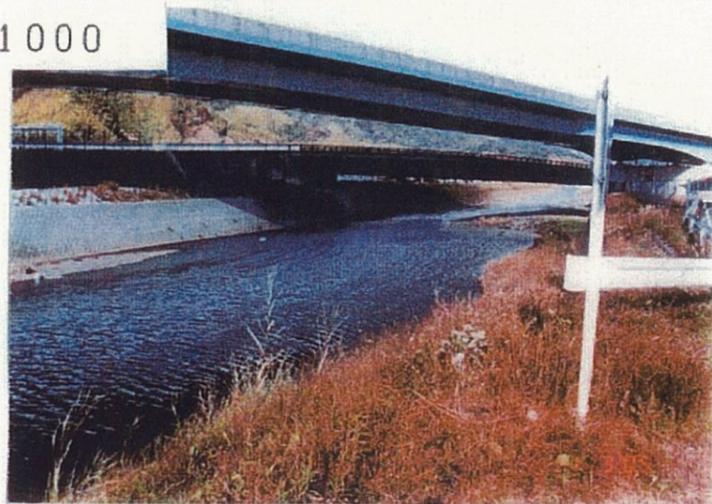
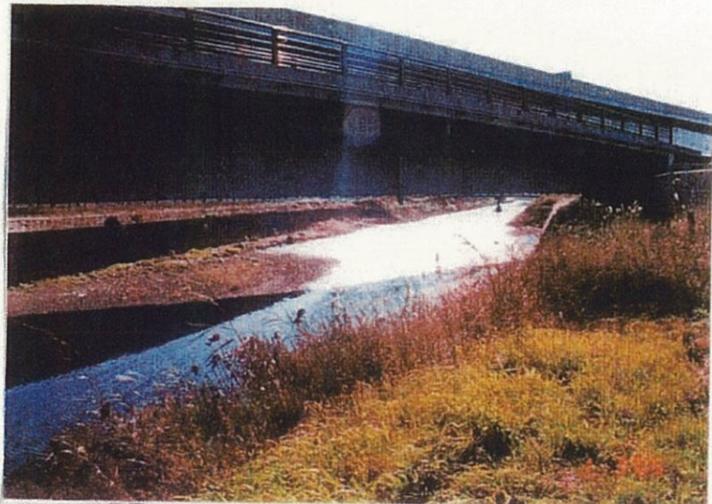


④市道 274 号線 (上流へ)

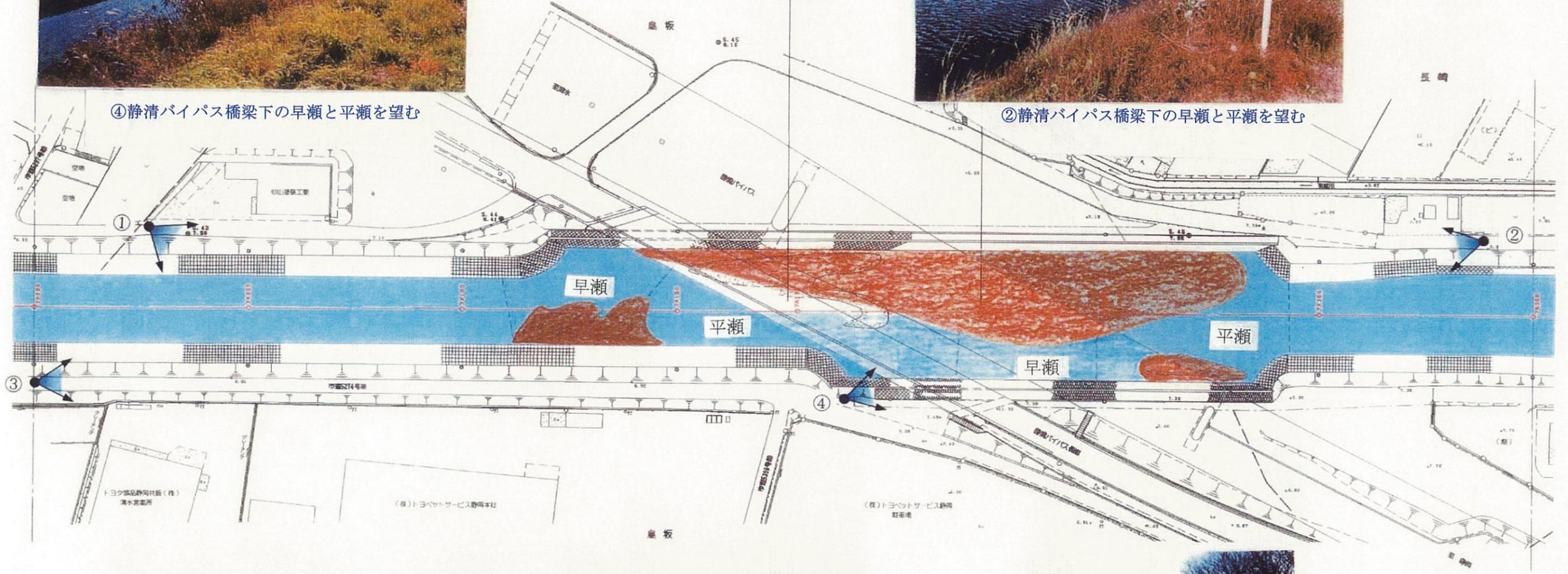
6K650 ~ 7K000	
工事名	平成 年度
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 20
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日 H	設計年月日 H
事務所名	静岡県静岡土木事務所

巴川平面図 S=1:1000

清水市

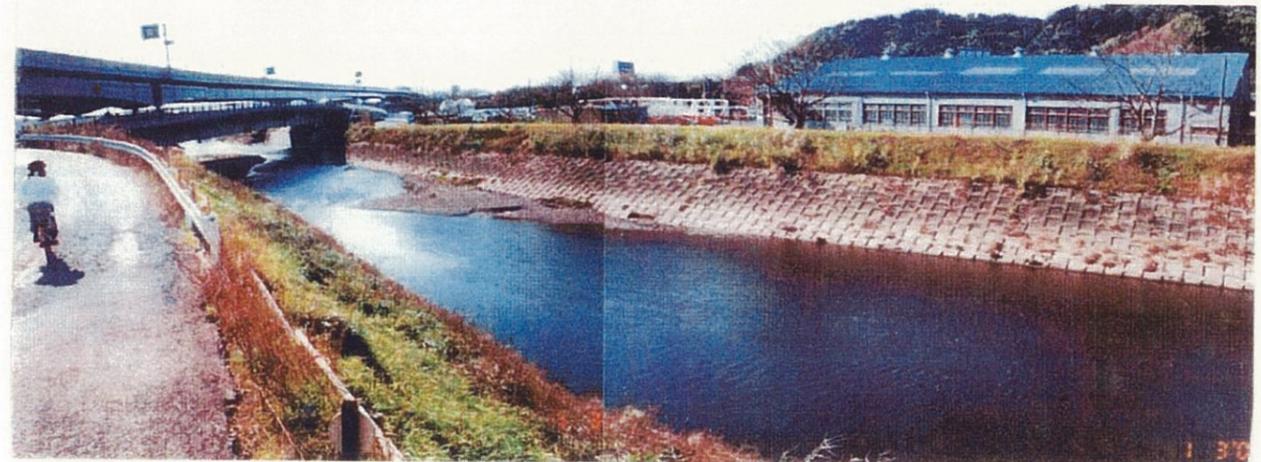


橋形式
L=89.00
W=9.50
(車線 1.50)
箱型式
ボックスガーダー式
橋台形式
柱式橋台



④ 静清バイパス橋梁下の早瀬と平瀬を望む

② 静清バイパス橋梁下の早瀬と平瀬を望む



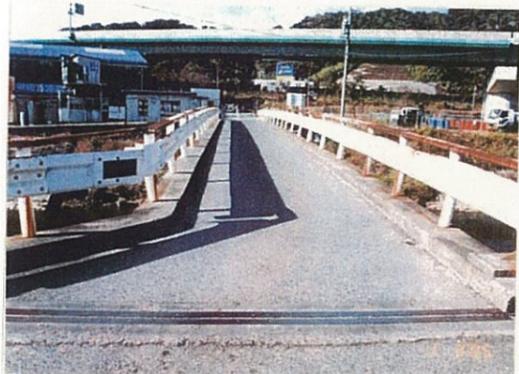
① 上流の早瀬・平瀬と洲を望む

③ 上流のサクラ並木を望む

7K000 - 7K350	
工事名	平成 年度
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 21
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所

巴川平面図 S=1:1000

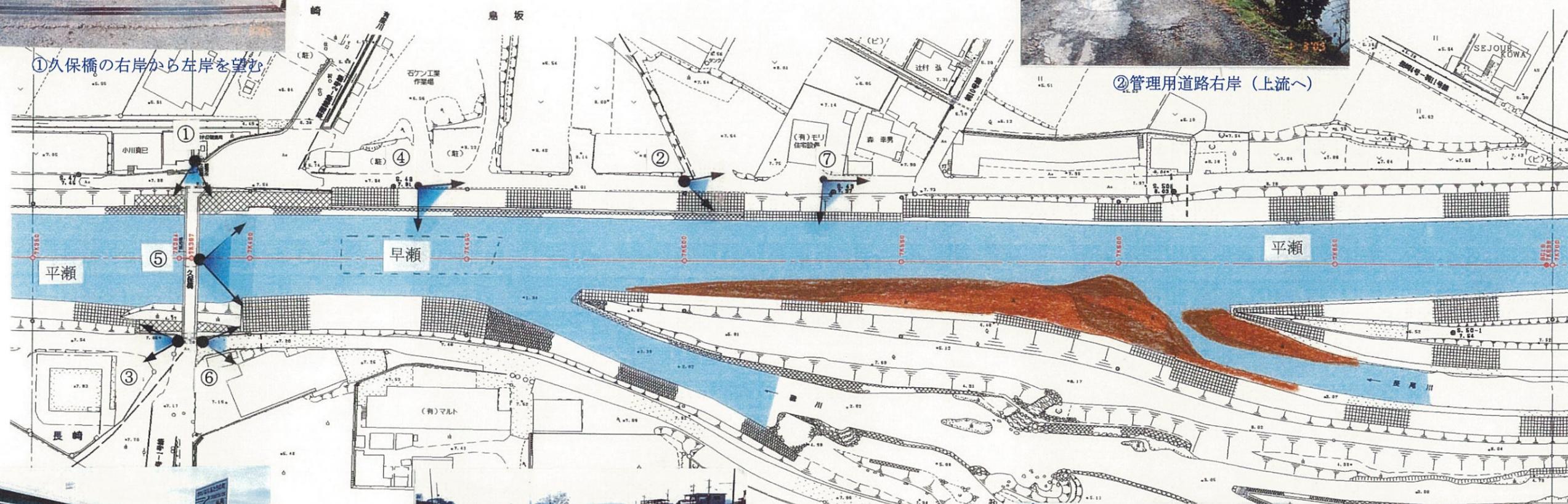
清水市



①久保橋の右岸から左岸を望む



②管理用道路右岸（上流へ）



③管理用道路左岸（下流へ）



④巴川と継川合流点の早瀬を望む



⑤久保橋から上流を望む



⑥管理用道路左岸（上流へ）



⑦巴川と長尾川の合流点と下流（左岸）の洲

7K350 - 7K700	
工事名	平成 年度
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図 22
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所

巴川平面図 S=1:1000



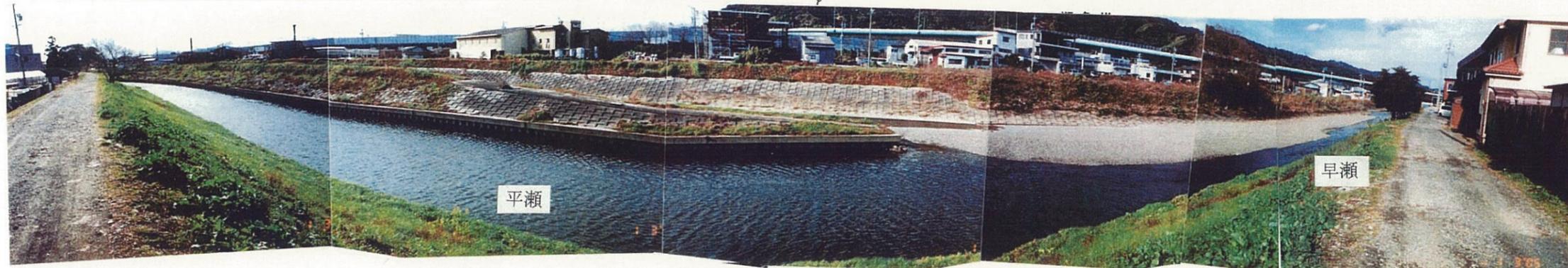
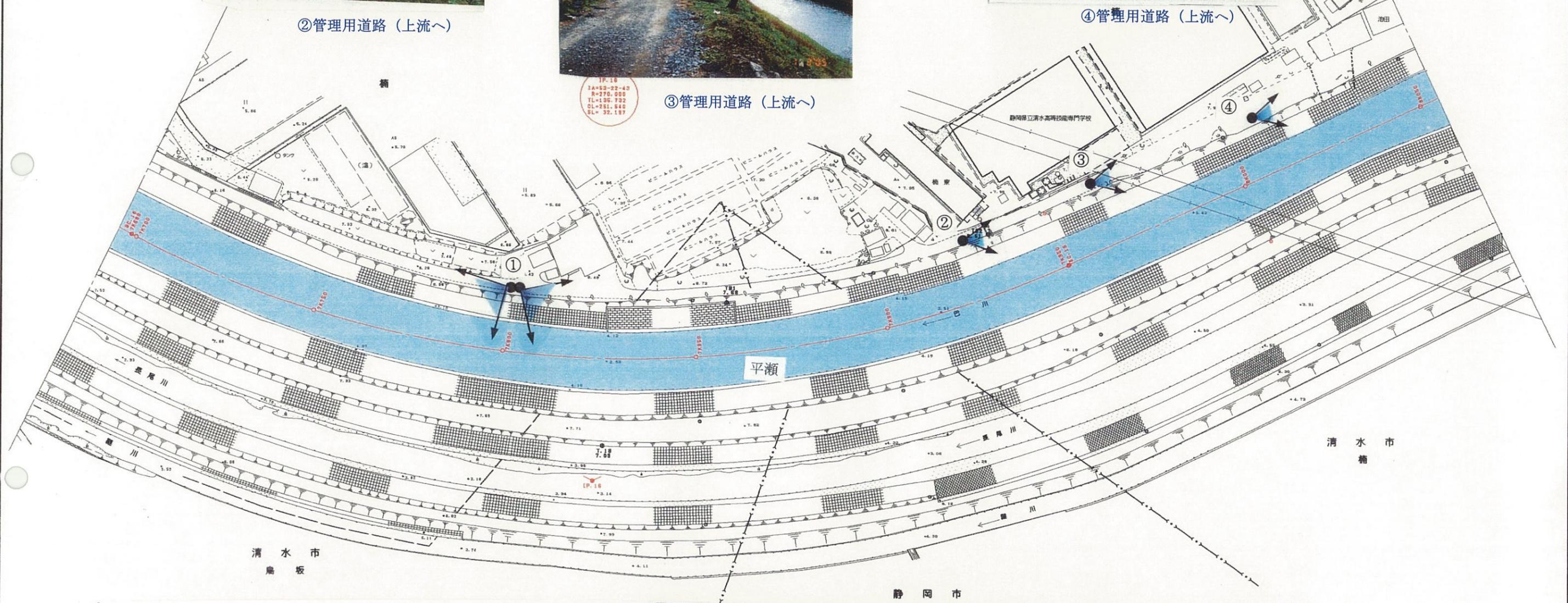
②管理用道路 (上流へ)



③管理用道路 (上流へ)



④管理用道路 (上流へ)

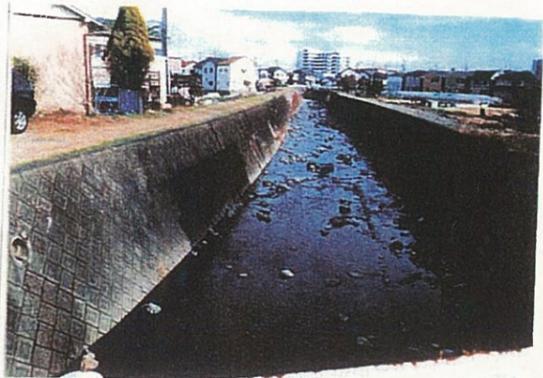


①巴川と長尾川の合流点付近より上流を望む

7K700-BK050	
平成 年度	
工事名	
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図23
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所

巴川平面図 S=1:1000

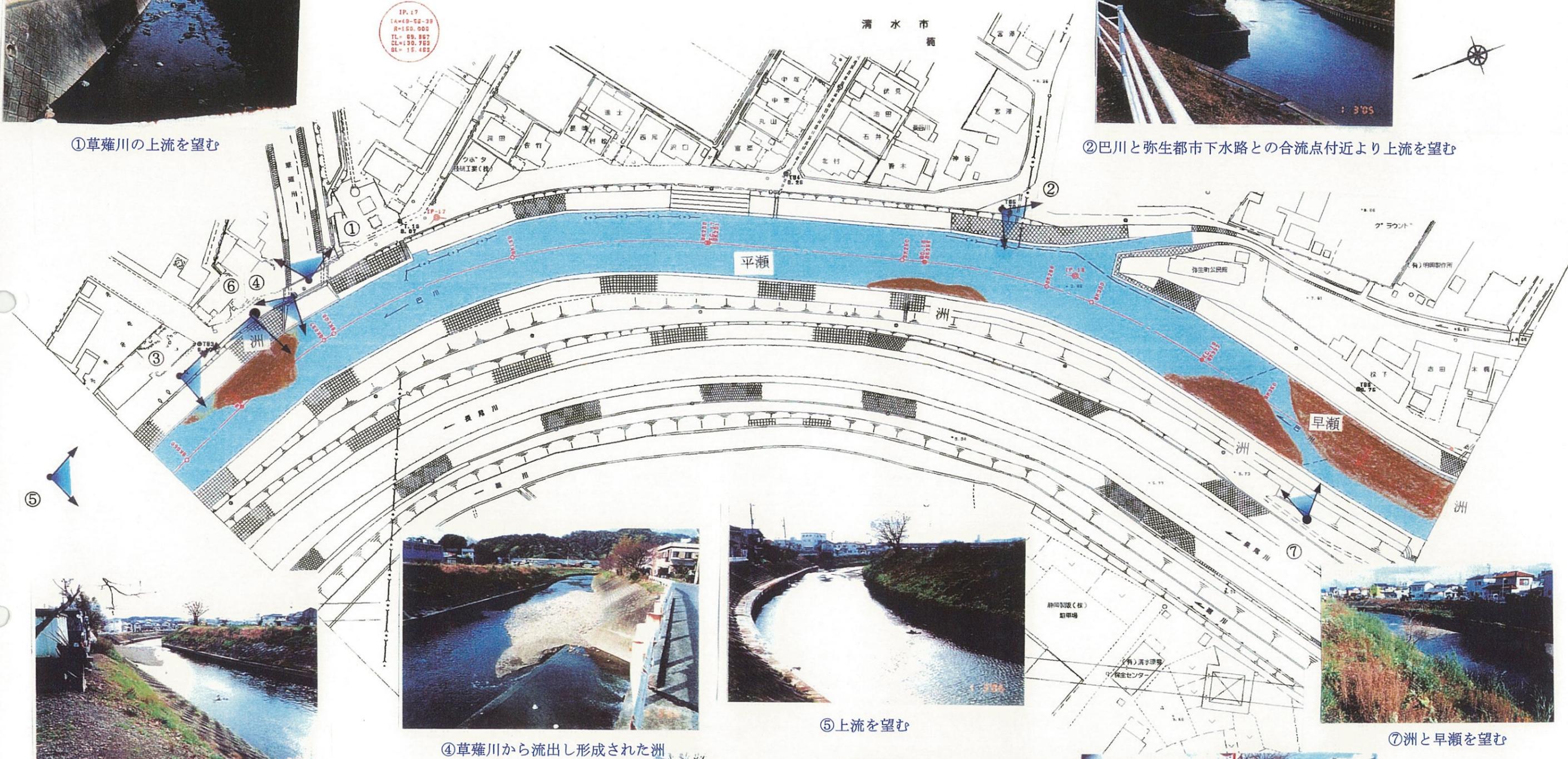
静岡・清水市



①草薙川の上流を望む



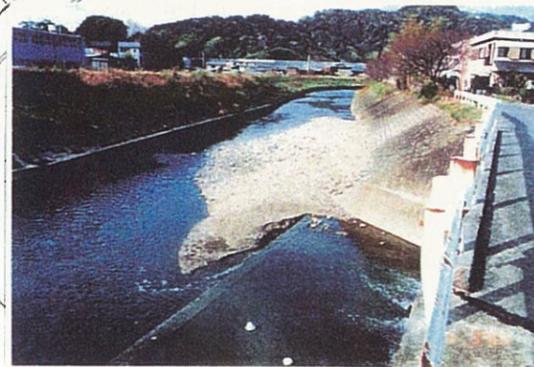
②巴川と弥生都市下水路との合流点付近より上流を望む



IP. 17
IA=49-52-39
R=150.000
TL= 89.987
CL=130.762
GL= 15.482



③巴川と草薙川の合流点を望む



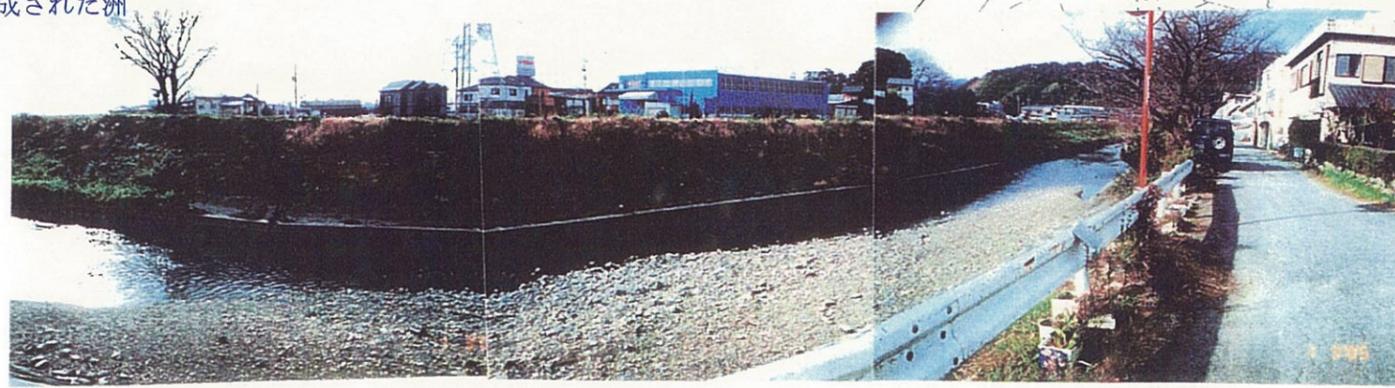
④草薙川から流出し形成された洲



⑤上流を望む



⑦洲と早瀬を望む



⑥草薙川から流出し形成された洲

BK050-BK400	
工事名	平成 年度
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図24
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所



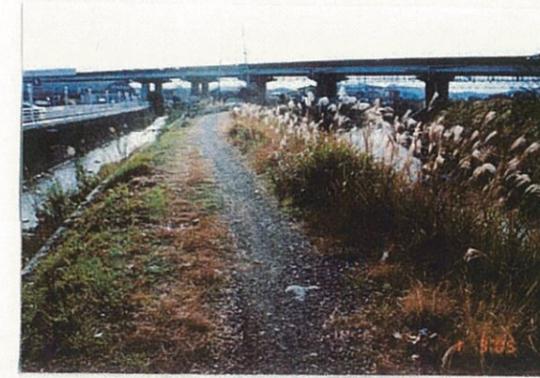
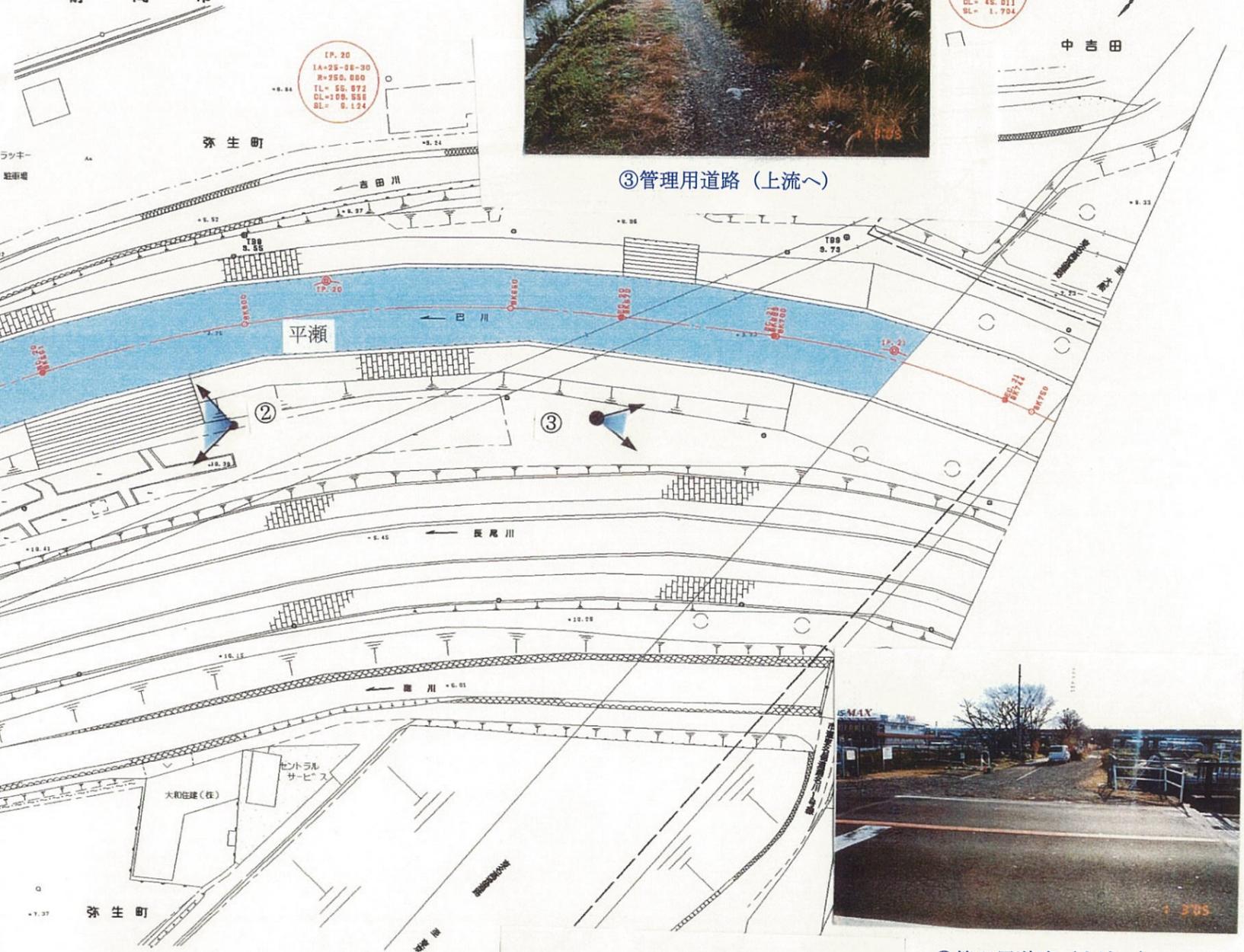
①管理用道路（下流へ）



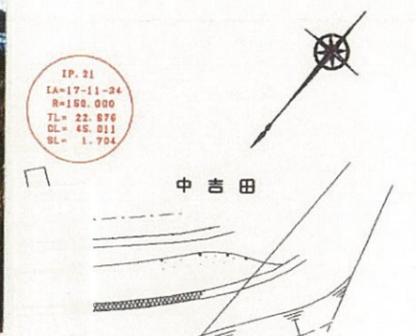
②巴川と吉田川の合流点を望む

巴川平面図 S=1:1000

静岡市



③管理用道路（上流へ）



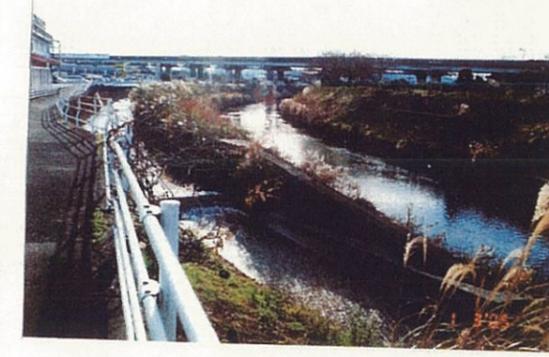
④巴川橋より下流を望む



⑤管理用道路（下流へ）
巴川と長尾川の背割堤



⑥管理用道路（上流へ）



⑦上流を望む
巴川と吉田川の合流点付近



⑧管理用道路（上流へ）
巴川と長尾川の背割堤

BK400-BK750 平成 年度	
工事名	
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図25
縮尺 S=1:1000	図面番号 案中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所

巴川平面図 S=1:1000



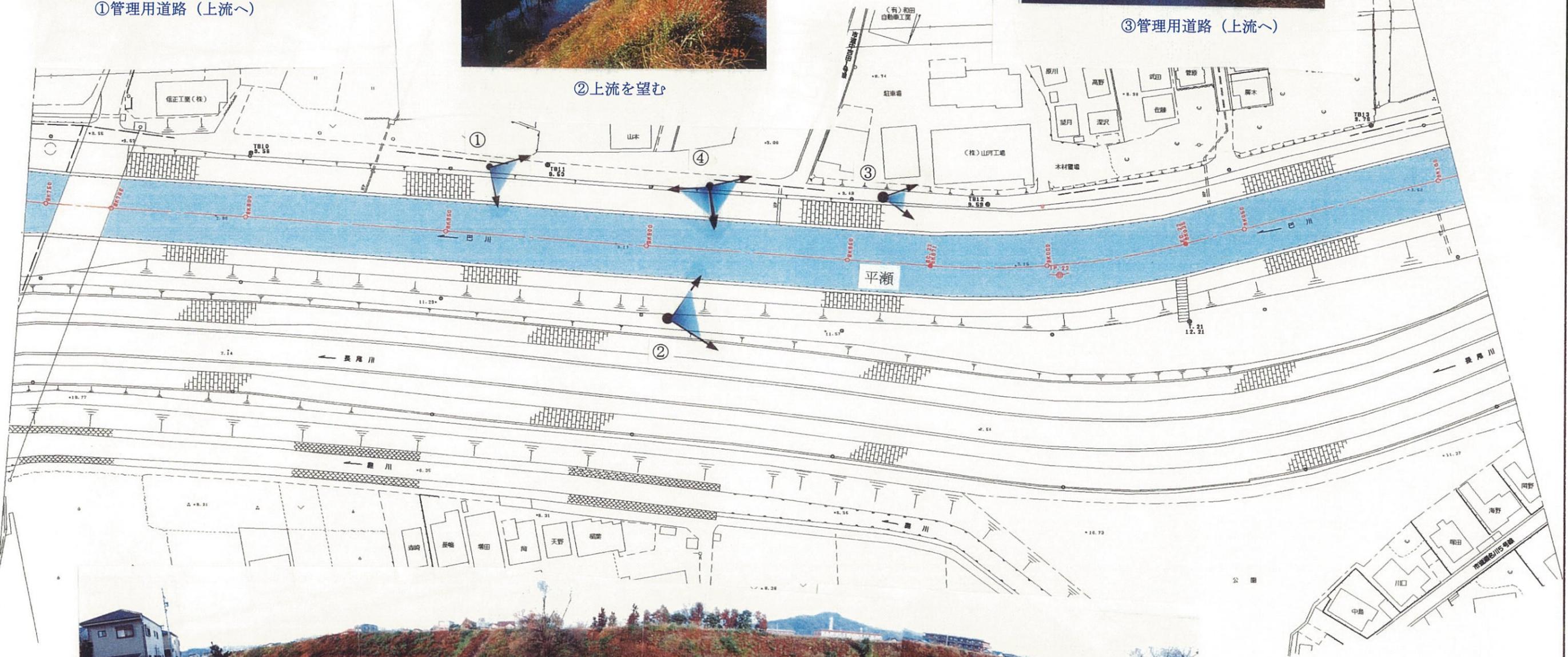
①管理用道路（上流へ）



②上流を望む



③管理用道路（上流へ）



④河道と左岸法面の状況

BK750-9K100	
工事名	平成 年度
工事箇所	
図面の種類	巴川平面図26
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県静岡土木事務所